関大
発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　金田雅一
電話 06(388)1121代表
振替口座大阪3—55594番

100周年担う法人の新役員決まる

久井理事長を七選
校友から10理事を選ぶ

学校法人関西大学では、新評議員による第一回臨時評議員会を十月一日開き、任期満了に伴う法人の新役員の選任を協議した。評議員会議長に佐々木砂夫氏、副議長に宇津呂雄章氏を決定、理事の選出では、校友から久井忠雄、稲野治兵衛、樫本信雄、吉田三七雄の四氏を、教職員から荒井政治、亀井清、上林良一の三氏をそれぞれ選んだ。ついで開かれた理事会で久井忠雄氏を理事長に再選、評議員会に報告、承認された。久井理事長は七期目となった。

理事長による推薦理事は正雄、植田正路、西村晃、村上精三の四氏、副理事長には稲野治兵衛氏が再選された。稲野氏は二期目。監事は田村徳夫、山田栄一、高畑敬一の三氏が選任された。

新理事会は今後四年間、関西大学の経営を担い、創立一〇〇周年の記念事業などを推進する。

◇理事長　久井　忠雄　(前)78歳
昭6大法。弁護士。27専務理事。

◇副理事長　稲野治兵衛　(前)66歳
昭16大政・56・3常務理事。56・11副理事長。

◇学長・理事　大西　昭男
(学長在任中)57歳
昭22専二国から京大卒。文学部教授。文学博士。

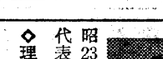
◇理事　荒井　政治　(新)61歳
昭24大経。経済学博士。

◇理事　泉　正雄　(前)73歳
昭9専二商。白水化学工業㈱代表取締役会長。

◇理事　植田　正路　(新)68歳
昭15東大法卒。㈱池田屋代表取締役社長

◇理事　樫本　信雄　(前)83歳
昭3大法。弁護士。校友会長。

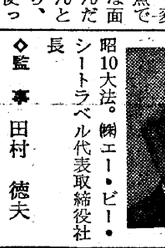
◇理事　亀井　清　(元)60歳
昭20旅順工科大卒。工学部教授。工学博士。



◇理事　上林　良一　(新)56歳
昭29院修法。法学部教授。法学博士。

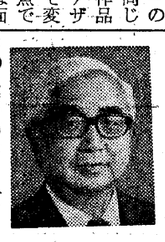
◇評議員会
◇議長　佐々木砂夫　(前)62歳
昭27院修法。大阪府議。博士会々長

◇副議長　宇津呂雄章　(前)51歳
昭30学一法。弁護士。



◇理事　西村　晃　(新)58歳
昭23大法。㈱太陽神戸銀行代表取締役副頭取。

◇理事　村上　精三　(前)76歳
昭5専経。大阪経営者懇話会主宰。



◇理事　吉田三七雄　(前)73歳
昭10大法。㈱エー・ビー・シートラベル代表取締役社長

◇監事　田村　徳夫　(前)66歳
昭18大法。弁護士。

◇監事　高畑　敬一　(新)54歳
昭28学三経。松下電器産業㈱取締役サービス本部長。

◇監事　山田　栄一　(前)58歳
昭25大経。公認会計士。税理士。

変革期を生き抜ける大学に

理事長　久井　忠雄

簡単に就任のごあいさつを申し上げます。

私から申し上げるまでもないことでございますけれども、各界各般にわたりまして情勢が混沌としておるように考えております。

ある人に聞けば、激しく現在の世情を判断いたしまして、明治御一新にもまさる変革期であると、こう教えられました。私のような魯鈍な者につきましても、かなり激しい変革期にあると考えますし、かつまたその行き先がどこかといったことについても、見定めがたいような混沌たる状況であろうと思うのであります。教育の場もその範疇を外れることはあり得ないと考えております。

この中でどういうように関西大学をもっていくか。生き延びるだけでは大学の使命は全うできないと思います。生き抜かなければならんと考えて、その職務に精励したいと存じております。

一〇〇周年事業の完遂を

副理事長　稲野治兵衛

ただいま評議員会のご同意を得まして、引き続き副理事長の重責を全うすることになりました。

昭和五十六年三月に、長年勤務いたしておりました新聞社を辞任いたしまして、大学の運営に当たってきたわけでございますが、まだ三年半という短い期間でございましたけれども、関西大学の実態というものをほぼつかみ得たのではないかと思っております。

再選されましたので、久井理事長を補佐いたしまして、当面創立一〇〇周年の記念事業を完遂し、そして中期・長期の展望に立って関西大学の経営に全力を尽くしていきたいと思っております。

シンボルマーク　キャラクター　決まる
応募作品二〇七点から選定

母校関西大学では一〇〇周年記念のシンボルマークと関西大学のキャラクターを制定することになり、作品を募集していたが、九月十日の締切日までに校友、在学生、その家族、高・中の生徒、教職員等百七人から二百七点（シンボルマーク百二十八点、キャラクター七十九点）の作品が寄せられた。

十月一日、この応募作品について、落語家・桂三枝、作家・小松左京、大阪大学教授・山崎正和各氏による審査が行われ、その結果、次のとおり入選作が選定された。（敬称略・佳作は順不同）佳作の作品は2面に掲載

▼シンボルマーク
一席　池永一広（47学一社、49学二商、53学二経）
佳作Ⓐ早川嘉文（工・応化四年次在学生の父）
同　Ⓑ桔梗慎一（二部法二年次在学）

▼キャラクター
一席　北村　洋（文・教育二年次在学生の父）
佳作Ⓐ榎本欣弥（一部文・英文四年次在学）
同　Ⓑ上島哲雄（35学一商）
同　Ⓒ北村　洋（一席作者）

シンボルマーク　1席

キャラクター　1席

風格と親しみを
—審査員の講評

母校関西大学のシンボルマークとキャラクターの入選各作品について、審査員から次のような講評があった。

▼シンボルマークは一〇〇周年に限定して使用する品位・風格の備わったものを、キャラクターは今後長く関西大学を象徴し、関係者に親しまれるものを選ぶという観点から審査し、入選作を選定した。選に洩れた作品の中にも捨て難いものがいくつかあったが、結局発表の作品を入選とした。

▼シンボルマークの一席は、KUの文字と一〇〇の数字を重ねて最もすっきりとまとまり、形の上で緊張感がある。佳作Ⓐは造形的に面白いし、成長する樹木に目をつけたところを買った。佳作Ⓑはユーモアがあり、図形としてもよくまとまっているが、趣味の上で少し普遍性に欠けるのが残念である。

▼キャラクターについては、造形的にも面白く、知恵を表わす「ふくろう」の主題のものを買った。同じ主題による同じ作者の作品がいくつかあったが、デザインがしっかりしていて変化に富み、迫力に優る点で一席作品を選び、簡素な面白さの点で佳作Ⓒを選んだ。佳作Ⓐは干成ょうたんという関大にゆかりがあり、大阪にゆかりの素材を使ってすっきりとまとめられている。佳作Ⓑはユニークで造形的にも狙いの楽しさの点でも抜群だが、内容的にやや古いといううらみがある。

▽　▽

これら入選作品の採用については、今後学内手続を経た後、正式に決定される運びとなるが、採用された作品は、創立一〇〇周年の機運を盛りあげるために有効に使用する方法が検討される。

シンボルマークとキャラクターの審査風景

59年度校友総会

10月21日(日)
万国博ホール

母校創立一〇〇周年に向けて、校友の一大結束をはかるとともに、校友会代議員の改選という重要議題を抱えた昭和五十九年度の校友総会が十月二十一日（日）、万国博ホールで盛大に開かれる。校友会執行部では、総会を意義あるものにし、また参加者に喜んでもらうため十月二日、常議員会を開いて運営の最後のつめを行い、別項のような組織ならびに功労者の顕彰も決めた。

アトラクションも昨年に続いて支部参加による特別出演も予定されており、毎年好評の女子秀麗会の総合土産品コーナーも開設されることになっている。

執行部は前売券の申し込みが順調なので、動員目標二千人を突破することを願っている。当日は『国会関大会』の全議員も出席予定で、党派をこえて校友総会の盛り上りをはかる。

◇特別功労表彰
寒川喜一　矢野文雄

◇組織顕彰
▽地域支部　岐阜支部　西宮支部▽職域会　関大不動産鑑定士クラブ▽同期会　五七会▽各種団体　関西大学体育OB会　関大スポーツマンクラブ　以上六団体

◇個人功労
▽大分支部長　渡辺順四郎▽鳥取副支部長　安部誠吉▽川西支部名誉支部長　富永一郎▽宝塚支部代表幹事　和田一成▽和泉支部長　山本利治▽枚方支部長　名越日月▽西成支部長　山田信夫以上七人
（敬称略）

総会ご案内

とき　10月21日（日）
午前10時受付　11時開会

ところ　吹田市・日本万国博覧会記念公園内　万国博ホール

会費　4,000円
（前売券は3,500円。申込は前日まで校友会事務局へ。同伴者も同額）

《プログラム》

・第1部　総会　11：00〜12：00
開会
学歌斉唱
校友会長挨拶
感謝状贈呈・組織顕彰
母校近況報告
会務報告
議事「任期満了による代議員の改選」
閉会

・昼食　12：10〜13：20
下の広場で各自懇親

・第2部　アトラクション
13：30〜15：40
徳島支部有志による特別出演
母校応援団現役学生賛助出演
鶴田浩二校友賛助出演
福引
逍遥歌合唱
閉会

▷交通
1．直行貸切バス運行（阪急バス）
往路運行時間　9・30〜10・30
北大阪急行千里中央駅前　阪急バスのりば　阪急山田駅前
復路運行時間　4・00〜4・30
上記出発地点まで
2．上記の時間外は、在来路線バス「記念公園中央口」ゆき、日本庭園前下車
3．自家用車は、東1東2駐車場が便利。

4氏に博士号授与

博士の学位記授与式が九月二十七日午後三時から関西大学会館来賓室で行われた。今回、授与されたのは辰巳正和（関西大学工学部助手）米田泰邦（関西大学法学部非常勤講師）村上惇（姫路工業大学産業機械工学科助手）久米正一（新日本製鉄株式会社）の四氏。米田氏は法学博士、他の三氏は工学博士。大西昭男学長から一人一人に学位記が手渡された。

論題はつぎのとおり。

辰巳氏『ビニル化合物のポプコン重合に関する研究』

米田氏『犯罪と可罰的評価』

村上氏『橋かけ高分子の物性と破壊機構に関する研究』

久米氏『高炉大型化に関する研究』

葛城の古道を訪ねて

11月10日　参加者を募集

第15回事業部見学会

大和の南西、葛城は神話と歴史のふるさとである。葛城の麓に開ける地域には数多くの格式の高い神社や史蹟がある。葛城王朝の地を秋の一日、ゆっくりと見学する。

◇とき　昭和59年11月10日（土）午前8時集合8時半出発
◇集合場所　ホテル阪神前駐車場
観光バスで西名阪経由御所着
◇主な見学場所　九品寺　高鴨神社　御歳神社　鴨都波神社　高天彦神社　一言主神社　船宿寺　不動寺
◇見どころ　葛城王朝（神武から開化に至る九代）の宮址と史跡の見学
◇現地講師　郷土史家　西口紋太郎先生
◇会費　五〇〇〇円（昼食代を含む）
◇定員　四十五人（先着順受付）
◇申し込みは校友会事務局へ

第13回常議員会開く

校友会の第十三回常議員会は、十月二日午後五時半から大阪駅前第一生命ビル十二階の好文クラブで、樫本校友会長以下四十三人が出席して開かれ(一)昭和五十九年度校友総会開催の件(二)第十五回事業部見学会開催の件を審議、承認した。

関大人事

大学院部長に末政教授

（10月1日）

▽図書館長　名取　栄史(法文)＝再任
▽大学院部長　末政　芳信(法)　昭25　関西大学商学部卒。昭27同大学院(修)。昭35　関西大学助教授。昭43　教授。昭51・10〜52・9　商学部長。研究分野は会計学。
▽教養部長　鉄川　積(法)
▽昭28　東北大学教育学部卒。昭45　関西大学助教授。昭52　教授　研究分野は生物学。
▽一般教育等研究センター所長　古後棚徳
▽部落問題研究室長　鈴木祥蔵
▽大学院法学研究科長　山川雄巳
▽同　経済研究科長　鶴鳴雪禎
▽同　商学研究科長　酒井文雄
▽法学部長代理　藤田久一
▽文学部長代理　伴　義孝
▽経済学部長代理　小杉　毅
▽商学部長代理　坂井昭夫
▽社会学部長代理　高木　修
▽工学部長代理　森田正信
▽教学部長代理　橋本昭一
▽教養部長代理　伊藤誠宏

◇公認会計士第二次試験合格者
（九月二十一日官報判明分）
▽西川浩史（59学1経　大学院商学研究科一年次在学　広田ゼミ）
▽金志煥（57学1商　末政ゼミ）
▽田中孝和（55学1商　岡部ゼミ）

◇工業技術研究所講演会
▽九月二十九日　planning and Automatic Control for Combined Sewer System　西ドイツ　H.W. Brüker 博士　司会　和田安彦助教授
▽十月三十一日　中国東北部における地下資源ならびに中国における工業教育　東北工学院副院長　関教授　通訳　金成珠講師

幕の裏

豊かになったとは言うが、それぞれ個人の生活には、いろいろと、それなりの事情のあるもの。大学にも、大学なりの事情がある。創立一〇〇周年をむかえるというこのとき大学に関係のあった者にとっては千載一遇の大変なことである。このとき大学にある者にとっては、命がけの仕事である。▼後世に残す偉大な事業を達成する必要がある。大学では「会議は踊る」毎日である。校友会の集りも顔を出すのが嫌になる。口を開けば一〇〇周年の募金の話だ。との声が聞かれる。校友の中にも、なんとか、さけて通りたいという素ぶりもある▼聞くところによると、大学関係者の中では校友会が数の上では最大の団体である。ところがその校友の募金がいま一歩出遅れている。学内では「校友会はどうなってるの？」という声も出ているうだ。十八万人近い校友、そして全国的なひろがりをもつ校友会の組織を動かすことは、簡単にはいかないし、時間もかかる。▼校友というのは、大学に最も近い存在なのかも知れない。存在なのようで、最も遠い校友には、募金をしたからといって、それに対する反対給付の期待をするものはない。しかし、校友には母校が一〇〇周年をむかえて歴史と伝統を誇るこの大学で、青春の時を過ごしたという心の誇りがある。その誇り、よろこびが「大学よ、おめでとう」の寄金となっている。校友は募金には快よく協力したいのである。▼けれど、その金額の多少にためらいがあると聞き。校友の心情は一つである。できるだけのことはしたいのである。それでよいのである。額ではない。金一封でよい。勇気を持って、胸を張って大学に届けよう。大学にも校友の心の理解が欲しい。

皇道饒から郵機械まで
光学館
心斎橋店2階

メガネ大学堂
●京橋店●心斎橋店
●阪神百貨店●虹のまち店

"ギフト最適"
明るさ、新しさ、豊かさを誇る
バース・カバン・ハンドバッグ専門卸商社
株式会社廣島屋
代表取締役社長　藏田廣造
(昭25学1経)
本社　〒541　大阪市東区博労町1-26
TEL 06-(261)-2431
営業所　大阪・東京

66年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市東区北浜3丁目39番地
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565〜7
大阪駅前店(第一生命ビルB1) ☎(06)341-0792
近鉄百貨店(上本町店・枚方店・奈良店)

オレンジシガカントリークラブ　(日本国際連合協会滋賀県本部指定ゴルフ場)
10月27日 華麗に正式開場
オレンジシガカントリークラブは
会員の皆様ならびにゴルフ場業界の熱い注目を
うけながら、好評のうちに完成し、
名門コースを目指して開場致します。
皆様方の御支援の賜物と厚く御礼申し上げます。
ゆったり設計の18ホールはエキサイティングで、
しかもやすらぎのあるフラットコース。
清らかな岩清水、澄みわたる空気、せせらぎでは
沢蟹が、フェアウェイではリスや野兎などの小動物
が都会の喧騒を忘れさせ、信楽ならではの大自然
の中でのプレーを満喫させてくれるでしょう。
今後のオレンジシガカントリークラブに
御期待下さい。
オレンジシガカントリークラブ
関西スポーツランド株式会社
コース　滋賀県甲賀郡信楽町宮町字檜谷1000　☎07488③0111
本社　大阪市北区芝田2丁目5番6号　☎06(374)1200(代)
京都営業所　京都市下京区東洞院通四条下ル　☎075(341)7646

御支援御協力有難うございました
オレンジシガカントリークラブ理事
名誉理事長　久井　忠雄　理事　沢田　嘉貞
理事長　稲野治兵衛　理事　富田　淑郎
名誉書記　村上　精三　理事　畑下　辰典
名誉会計　荒井　廣　理事　古川　好男
理事　赤井　常隆　理事　三木　憲三
理事　樫本　信雄　理事　山本　守昭
理事　小坂　光則　理事　尾中　治
関西スポーツランド株式会社
代表取締役社長　尾中　治(34年経卒)　取締役　中川　良雄(44年経卒)
取締役　朝比奈貞嘉(34年法卒)　監査役　荒井　廣(16年法卒)
取締役　高橋　篤信(34年商卒)　監査役　山本　守昭(28年商卒)
取締役　堀　丈輔(36年法卒)

北から南から

日本拳法の矢野文雄氏
体育振興で 文部大臣表彰

日本拳法会会長・矢野文雄氏（校友会参与）が体育功労者として十月十日付で文部大臣表彰を受けた。

表彰状の内容は「あなたは長年にわたり体育の普及振興に尽力し他の模範となるに足る功績をあげられました よってこれを表彰します」となっている。

矢野氏は昭和七年、故沢山宗海氏とともに関大に大日本拳法を設立、沢山氏が会長、矢野氏が副会長として〝心の武道〟の普及発展に尽してきた。戦前は関大と関学にしかなかったが、戦後は日本拳法として普及し、現在、国内でのべ五十万人が修練に励み、百余の支部が設置され、約百大学に部や同好会があるという。国外でも米、英、ザンビア、ニュージーランドに支部があり、国際的人間交流の場としてもめざましい発展をしている。

矢野会長は五十七年、大阪府知事賞、五十八年、大阪市市民功労賞を受賞している。

「これまで日本拳法は公式的には国から認めてもらえなかったが、これで日本拳法が青少年の体育振興に役立つものとして認められたことになる。私が受賞したことよりも日本拳法を文部省が認めてくれたことに大きな意義がある。関大で生まれた拳法が認められたことが何よりうれしい。日本拳法は役員一同、ボランティア精神でやっている。それが強い団結になり、発展の礎になっている」と喜びを語っている。

表彰状を手に喜びを語る矢野氏

松原支部が発足
53人が集い盛大に総会

松原支部在住および勤務先のある校友五十三人は九月七日午後六時半から松原商工会議所大会議室で、松原支部創立総会を盛大に開催した。

来賓として稲野副理事長、校友会徳山組織部長、金田事務局長、藤本同次長、近隣支部として、八尾、藤井寺、羽曳野、柏原の各支部、職域会として松原市役所関松会から十二人の代表の出席を得て支部会則、事業計画など審議、力強く創立、発足を宣言した。

一部を終って二部の懇親パーティーに移り、最後に円陣腕組みの逍遥歌の大合唱、柏原支部長の万歳三唱で閉会となった。役員は次のとおり決定された。

▽支部長　井沢清仁▽副支部長　河合信吾▽同　飯尾源明▽会計監査　浅田利治▽同　福井英治▽幹事長　山田芳弘▽会計　門出章次▽幹事　池内啓三▽同　米田宗一▽同　北田賓二▽同　山岡敏明▽同　宮谷昭広▽同　玄口寛▽同　渡辺正敏▽同　大田早苗子▽同　河合秀明

（福井英治記）

十七会総会開く

関大十七会（当番幹事、大津椿作）の五十九年度総会は、恒例により卒業記念日を選んで九月二十日早後六時から大阪ミナミ「大成閣」に事務局から藤本次長を迎え、同期生三十人が出席して開催された。

今回の総会には遠く金沢、和歌山、名古屋、沖縄からも参加、旧交を温めるとともに話題はもっぱら母校創立一〇〇周年募金。一〇〇周年という千載一遇の好機にともに祝意を表することの喜びを広く呼びかけ、参加の輪を広げようとの申し合わせがあった。なお近く沖縄への一泊家族旅行を企画し連絡することになった。

募金は30万円以上
喜楽会総会で決定

喜楽会（昭15専・1）の総会は、八月十日午後五時半から、奈良市猿沢池畔、大仏館一泊で行われた。田中正巳会長が不参加のため、山崎哲英副会長があいさつした。議事で母校一〇〇周年記念事業募金について▽喜楽会として三十万円（以上）を寄付する▽このため会員全員に一口五千円の喜楽会内の寄付を募る▽個人が別途、個会兵衛さん（昭8大法）にオンブにダッコだった。「遠慮は無用。ウチにいればよい」という親切にあまえて居候生活を続けた。

秋風が立ち、これではならじと自覚、OB訪問を始めた。陸上マネジャーOB、村上正躬氏（昭2専法）＝全国マラソン後援会関西支部長＝に照準をしぼり、午前六時起床、練習をすませると、すぐ先輩の勤務先、水道局を訪ねた。二カ月間かよい続けて、記録への執念を語った。

当時、市役所では部内対抗陸上競技が盛んだった。村上先輩が上司を口説いてくれた。「藤枝を採用すれば、水道局の優勝は絶対確実」と。これが奏功して、経済的自立がかなった。

「部内対抗」は、新人の大活躍で水道局が初優勝、予言は的中した。この実績を生かして、名スプリンター、故谷口睦生君（昭14大法）が入社、「日本記録樹立」を目指す中距離ランナーの学生生活が始まった。

とはいえ、ありようはマネジャー故佃宇兵衛さん（昭8大法）にオンブにダッコだった。「遠慮は無用。ウチにいればよい」という親切にあまえて居候生活を続けた。

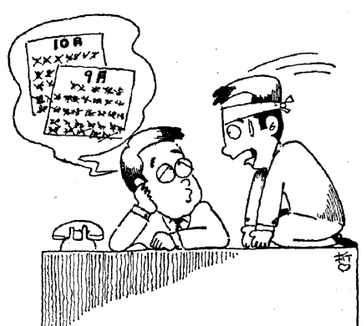
秋風が立ち、これではならじと自覚、OB訪問を始めた。陸上マネジャーOB、村上正躬氏（昭2専法）＝全国マラソン後援会関西支部長＝に照準をしぼり、午前六時起床、練習をすませると、すぐ先輩の勤務先、水道局を訪ねた。二カ月間かよい続けて、記録への執念を語った。

当時、市役所では部内対抗陸上競技が盛んだった。村上先輩が上司を口説いてくれた。「藤枝を採用すれば、水道局の優勝は絶対確実」と。これが奏功して、経済的自立がかなった。

「部内対抗」は、新人の大活躍で水道局が初優勝、予言は的中した。この実績を生かして、名スプリンター、故谷口睦生君（昭14大法）が入

とっておきの話

春風駘蕩



秋、本番十月一日の「会社訪問解禁」で、リクルートルックが街をかっ歩している。日ごろラフなスタイルをしている学生が、就職シーズンインで、いやおうもなく「四回生です」の名札をつけさせられた格好だ。

私が、大阪市水道局に職を得たのは、昭和五年十一月、不況のまっただ中だった。なにしろこの年十月一日の第三回国勢調査では失業者数三十二万二千五百余人。年間自殺者一万四千人弱を数えた。「ルンペン」が流行語になり、不況を逆手にとったコマーシャルがはやった。

不景気か？　不景気だ！　赤玉ポートワインを飲んでいるかネ　飲んでいない！　そうだろう！

× × ×

奈良県立磯城農（現田原本農高）陸上部時代にコーチを受けた故岸源左右衛門氏（昭3大法）のひとことに「とにかく来い」で、早大、東京農大の勧誘をふりきって、春、千里山の合宿入りした。晴れて専門部二部経済科一年生となり、「日本記録樹立」を目指す中活躍で水道局が初優勝、予言は的中した。この実績を生かして、名スプリンター、故谷口睦生君（昭14大法）が入学したとき、村上先輩をたきつけて「常勝チームづくり」を前面に押し出し、彼の職場を確保した。

しかし学生・公務員・選手の一人三役をこなすことは、容易ではない。谷口もひとつ百分11秒台に落ち「練習不足で記録が伸びん」と悩んだりした。

その苦悩を知ってか、三日に一度は、午後から「▽▽倉庫の整理」を命じられ、二人は陽がかげるまで千里山グラウンドで、楽しく〝勤務〟し、走った。

若き日の想い出を語るとき、「春風駘蕩」という表現が、私にはピッタリくる。半世紀も前に、先輩諸氏や職場の仲間が示してくれた好意が、いまなおほのぼのと感じられるからだ。心にゆとりがあったのだろう。

藤枝　昭英（桂鷹校友）氏談

八百分1分56秒8（日本新記録・昭和8年）、奈良県体育協会会長

（文責・篠原茂一）

箕面支部今年も百名総会
100周年に一括募金

校友会箕面支部（米沢三郎支部長）の五十九年度総会は、九月三十日の日曜日、箕面駅前ビル箕面市立箕面文化センターに母校から久井理事長、本部から徳山組織部長、金田事務局長、藤本同次長、大阪三区選出の原田、中野、近江の三校友衆院議員、近隣より曇中支部の大前氏、摂津支部の森山氏らを来賓に迎え総勢百二十五人の参加者を得て盛大に開催した。

今回は月末、しかも市内全小学校の運動会と重なり出席が危ぶまれたが、そこは箕面支部、十八人の夫人が彩りを添え、今回も百人集会を実現した。

総会では、米沢支部長の挨拶に続いて、母校創立一〇〇周年記念募金に対し金五十万円を箕面支部として団体寄付の目録を久井理事長に贈呈。来賓挨拶では徳山組織部長が校友十七万五十人組織のけん引車的役割の期待をたいへん激励。また久井理事長は母校は次世紀に向けて生きのびていくのでなお生き抜いていくべき重要な時期を迎えていると展望を述べた。このほか事業、会計報告を承認して総会を閉じた。

親睦会では、サントリー出前幕席の漫才一席で興を盛り上げたあと、ホステスを入れての和らいだ会場に元応援団長をはじめ老骨にムチを打ってのOBが三拍子ありの鯉の滝のぼりあり、会場のボルテ

大阪府下関大自治体懇総会

大阪府下関大自治体職域懇談会（篠原昭三代表世話人）の第八回総会が、九月二十二日高槻市民会館で百三十人が参加して開かれた。

同会は昭和五十一年に篠原氏の提唱で発足し、会員五、〇〇〇人を擁する団体、大阪府下自治体校友同学の士が、相互の緊密な連携を結び、親睦を推進しながら地方自治の進展を図り、郷土大阪の発展に寄与しよう、というもの。

校友相互の啓発も必要である、と総会毎に母校の先生を招いての講演会を行ってきたが、今回は、「新情報時代の地域行政」と題して、母校生えぬきの新進気鋭の学徒である社会学部専任講師、多賀弘次先生が講演。ニューメディア、マイクロ・エレクトロニクス時代に対応する自治体職員のあり方に深い教訓を与えていた。

来賓として母校からは久井理事長、校友会長、学長をはじめ、地元の江村高槻市長、校友の西島前市長も来席した。

総会では、前豊能ブロック世話人高田明氏の参与就任を決めた。

大阪府庁幹部研修会で講演
網干善教教授

九月二十五日、網干善教教授が大阪府庁の幹部研修会に出席、講演した。

府庁別館七階の大講堂は聴衆約五百人が席を埋めつくした。「歴史と生活」と題しての熱弁は、該博な知識と、博覧強記の内容に驚嘆するばかり。

温容をたたえながら、鋭く役人への批判を放つ。

「「地方の時代」というが、地方とは何か。みなさん答られますか。「天八月二ンテ、地八方ナリ」が地方の意です。中央に対しての地方ではありません「知事」と何故いうか。町長、市長と呼ぶ。県長、府長となぜいわないのか。そのゆえんは…。」

二時間にわたる熱弁に傾聴する大阪府庁幹部の姿を見ながら、かくも碩学の師を擁する母校をひそかに誇りに思った。

お元気な大先輩の顔
支部総会に出席して

◇御所支部の総会に出席し奈良県知事、上田豫氏（21大経）の顔を見て、知事と市長、芳本甚三氏（19大法）が校友とは全国でもこの支部だけだろうと思った。

◇箕面支部の総会では三年間組織が取り組んで来たそのテーマを現実に見ることができた。受付で森省二先生（法学部）東工学部に案内されると中野寛成、近江巳記夫国会議員の二人の校友がきておられ、その後、原田籏校友も出席された。校友国会議員九人のうち三人の選挙区である。三人全員が出席されることもめずらしい。法人理事の吉田三雄氏、校友会事業部長、和田栄重氏も出席、職域の箕面市役所秀麗会、市役所広報誤の稲田君がカメラを持って、せわしくシャッターを切っていた。

また女子秀麗会の会員の校友が出席、バザーのPRをされた。校友が奥さん同伴の出席と聞いて、びっくりした。地域支部を中心にしてその地域の各組織が参加、また教学の先生方、住んでいる法人の校友、本部役員が一校友として総会に出席するという家族ぐるみの総会である。これが九月八日の全国組織代表者会議での野村昭先生の講演の趣旨であり、私どもが取り組んできたものであったと思う。支部の再建から取り組んでこられた組織部の高田明氏（23大法）多くの校友の信頼を受け多米沢支部長、各役員さん大変ご苦労さまです。

◇大分支部長、渡辺順四郎氏（14大経）は昭和五十二年からの支部長で、昭和二十八年設立から五十七年に設立三十周年の総会を開いたが、母校から出席されたのは初めてであると喜んでいただき、毎年出席して下さいと激励される。

総会には昨年喜寿を迎えられた大正十年本の元支部長、石坂一馬（大10卒）長老がデンと席に着き、昭和四年卒、和田睦明▽昭和九年卒、木本義重▽昭和十三年卒、内田宏▽昭和十四年卒、西村正英▽昭和十五年卒、得丸正雄▽昭和二十年卒、藤野達男の大先輩がずらりと出席。そのとなりの席に北海道函館から転勤して来て一年になる大分地方検察庁検事正、小林照佳氏（昭26年法卒）が座っている。

「校友というのはうれしいもので、私のように全国を二年ごとに転勤しているものは、その行先に支部があって、お世話になっております。支部長さんはじめ役員さんとお会いして話を聞かせてもらい、地域の事がらを教えてもらっておりますれん。関大万才です。女房も息子も関大で、家で酒を飲むと〝静かに言い行く……〟やりますれん。国立大学の卒業生が日本の社会を支えることはできません。日本を支えるのは母校、関大のような私学の卒業生です。校友が頑張らねば――」と意気盛んな。

総会では昨年喜寿を迎えられた大正十年本の元支部長、石坂一馬（大10卒）長老がデンと席に着き、昭和四年卒、和田睦明▽昭和九年卒、木本義重▽昭和十三年卒、内田宏▽昭和十四年卒、西村正英▽昭和十五年卒、得丸正雄▽昭和二十年卒、藤野達男の大先輩がずらりと出席。そのとなりの席に北海道函館から転勤して来て一年になる大分地方検察庁検事正、小林照佳氏（昭26年法卒）が座っている。

「校友というのはうれしいもので、私のように全国を二年ごとに転勤しているものは、その行先に支部があって、お世話になっております。支部長さんはじめ役員さんとお会いして話を聞かせてもらい、地域の事がらを教えてもらっておりますれん。関大万才です。女房も息子も関大で、家で酒を飲むと〝静かに言い行く……〟やりますれん。国立大学の卒業生が日本の社会を支えることはできません。日本を支えるのは母校、関大のような私学の卒業生です。校友が頑張らねば――」と意気盛んな。

校友総会で阿波踊りを決める
徳島支部総会で

校友会徳島支部（小寺善一郎支部長）の五十九年度総会は、十月六日夕、徳島駅前ホテル春目に、校友会本部より金田事務局長、藤本同次長を来賓に迎え、支部校友三十八人が参加して盛大に開催した。

毎年の総会は、母校の夏の地方教育懇談会開催を機に催されており、今年は時期はずれ。しかも支部校友の多く勤務する金融機関は繁忙期、県、市議会は開会中と悪条件が重なり、出足が危ぶまれたが、遠くは岡南、池田、兵庫の福良に勤務先を持つ常連の顔ぶれが続々とつめかけ、予定を超える出席者で開会となった。

総会では内村幹事長の司会で開会、小寺支部長の①母校創立一〇〇周年記念事業募金への対応②本年度校友総会への阿波踊り出演③徳島関大クラブの運営など提案

250人が熱気の集い
関大奈良倶楽部が総会

秋晴れの九月十六日午後、関大奈良倶楽部の昭和五十九年度総会が新装なった奈良ホテルの大宴会場で開催された。母校から大西学長、稲野副理事長、校友会から樫本校友会長、徳山組織部長、金田事務局長、藤本同次長、鈴木女子秀麗会々長を迎え、参加者約一百五十人の熱気あふれる総会となった。

今回の総会は特に、関西大学出身唯一の知事である上田奈良県知事の選挙出馬激励と母校創立一〇〇周年記念事業の成功に向けての総会で、その意味で例年になく気合の入ったものとなった。また、新しい県下の校友名簿も多数の校友の協力によりこの総会に合わせて発行できた。

総会は浦田会長の挨拶にはじまり、続いて徳山組織部長、金田事務局長より行事の内容、募金の方法の説明と協力要請があった。

懇親会にうつり自己紹介があり、最後に学歌合唱。万歳三唱、和気あいあいのうちに散会した。

体友会が第三回総会

関大体友会の総会は、八月二十五日、大阪なんば・割烹日本で開き、なつかしい顔二十三人が集まった。

体友会は、昭和四十年三月卒業生で、体育会各クラブで活躍した仲間一百五十人が親睦をはかり、母校の体育活動を振興しようと、一昨年結成したもので、ことしは三回目のつどい。

水泳部の寺尾豊、サッカー部の金江寛、馬術部の道臣ら、かつての名選手たちが顔をそろえ、関大時代を語りあった。

この日の総会では、一〇〇周年記念事業には体育OB会の一団体として積極的に協力することを申しあわせた。

なお、十一月二十一日にはゴルフコンペを開いて親睦を深める。

（山本　公士）

生駒支部が総会

九月二十四日午後一時から生駒支部総会（支部長稱村万喜雄）が四十人参加のもと、長老の一人である松本実道住職がとりしきっている生駒山宝山寺和光殿で開催された。

本部から樫本会長と金田事務局長が参加、母校創立一〇〇周年行事について詳細説明があり、募金活動の現況について報告があった。

例年なら上田奈良県知事の参加もあるところ、今年は県知事選の真最中ということから不参加であったが、会員全員の積極的な参加により、懇親会も盛大裡に推移した。特に会員の平松税理士による「現在の税法」の話が好評を得た。

席上母校一〇〇周年行事に対する積極参加と募金活動により一層の協力をしようと決議がなされ、午後四時すぎ閉会した。

御所支部総会開く

御所支部は八月五日午前十一時から約四十人の校友が集い、由緒ある鴨都波神社鴨宮殿で総会を開催した。校友会本部からは、徳山組織部長、金田事務局長が遠路出席。

総会では、二年に一度実施している関大教授による公開セミナーを今後も継続して、60年は網干教授に、明日香と高城山麓のかかわりについての講演をお願いしようという決議もされた。来賓で出席の上田奈良県知事から「これからの奈良県のビジョン」というテーマで講演があった。

懇親会では奈良クラブの浦田会長、高田支部の田口会長ほか数人が友情参加、和やかに同じ学窓に学んだ者同士の気安さで話に花が咲いた。御所支部長である芳本市長から、何としても秋の知事選には上田知事に大勝再選してもらうために校友の総力を結集しようとの発言があり、全員が力強く賛成し、再会を期した。

（田中幸弘記）

藤井寺支部が初の優勝
三支部対抗ソフト

日曜と秋分の日が重なり振替え休日となった九月二十四日、第四回柏原支部地区対抗ソフトボール大会と、第一回八尾・柏原・藤井寺三支部対抗ソフトボール大会が、柏原中学校グラウンドで開催された。

柏原支部では、五十六年から柏原市域を三地区に分け、職域の柏原市役所関大会も加わって、四チームによる地区対抗のソフトボール大会を実施し、若い会員の参加を促すとともに親睦の実を挙げてきた。今回、さらに親睦の輪を拡げようと石幸柏原支部長の提唱により、近隣三支部対抗のソフトボール大会が実施されることになった。

好天に恵まれたこの日、午前は第四回の柏原地区対抗が行われ、堅下国分、職域を圧倒して柏原地区チームが初の優勝を飾った。

つづいて午後一時、水野八尾支部長に率いられた八尾チーム、西野藤井寺支部長の率いる藤井寺チーム、石幸柏原支部長をはじめとする柏原チームが勢揃い。樫本校友会長より贈られた会長杯の奪取をめざして奮闘、珍プレー、好プレーが続出した。

藤井寺支部は揃えの野球帽を新調するなど意気込みは十分、チームの一員として堀端藤井寺市長も参加し攻守に活躍。その効あって藤井寺支部が第一回の優勝をものにし、会長杯は西野藤井寺支部長の手に渡った。

この後、近くの清州会館で懇親会をもち、ビールで乾いたノドをうるおしたが、このような催しは支部内の結束を強めるとともに、他支部との交流も得られて二百二人の話に花が咲いた。

戦績は次のとおり。第一試合　柏原10－5八尾、第二試合、藤井寺9－8八尾、第三試合、藤井寺16－4柏原。

東住吉支部が総会

校友会東住吉支部（橋本光次支部長）の五十九年度総会は、八月十八日午後五時から阿倍野東海倶楽部に約三十人が集まり開催した。本部から徳山組織部長、藤本次長を迎え、地元から長老、中石清一法人顧問も久しぶりに元気な姿を見せた。

総会は橋本支部長から、役員改選のほか、母校創立一〇〇周年募金に対する取り組みについて提案があり、羽渕博校友を議長にはかられた結果、役員は次の員補充のほか会員留任を決め、募金に関しては「他大学に恥とならないよう校友のプライドをもって分に応じて募金参加を広げよう」との申し合わせがあった。

懇親会では「テーブルごとに自己紹介を行い懇親の実をあげ、道遥歌をうたい散会した。

奏参院議員が特別講演
大阪東支部総会

大阪東支部（片野紘一郎支部長）の五十九年度総会は九月二十二日大阪国際ホテルで、五十数人が出席して開催した。

片野支部長より母校発展のため募金協力の力強い呼びかけがあり、学歌斉唱の後、特別講演「永田町からの報告」が秦参院議員からあり、国内外の情勢分析を新聞やテレビラジオと異なった角度で説明。その後、久井理事長、稲野副理事長、大西学長、樫本校友会長、藤本校友会事務局次長より、大学の近況、また将来へ向っての展望、そして募金に参加することに意義があり、一万円でも二万円でも喜んで頂戴したいむねの発言、十月二十二日の校友総会参加の強力な呼びかけ等があった。

引き続き宴会を楽しんでいる途中、福引抽選が行われ、北浜、カタノさん提供英国製紳士服時価二十万円也、その他豪華絢爛な景品、空くじ無しで、おまけとして美々卯さんの提供のうどん・そばの手麺の大きな包を全員に頂戴した。

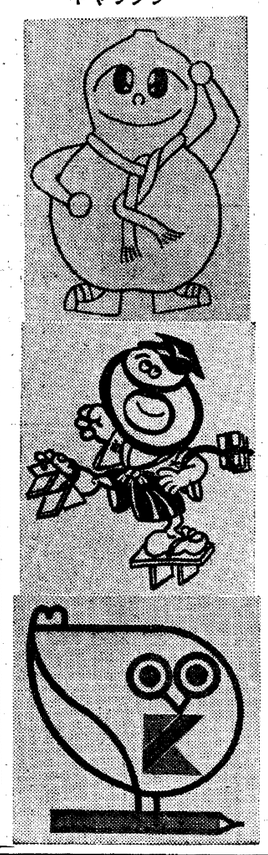
今回は時間の少ない関係上各個人の自己紹介はなく、ただ秦議員がいった「現在、関大出身の国会議員は九人です」の話から、早く十人目の国会議員になってほしいという願いをこめ、前田正君のみが紹介され、その後追遥歌を合唱、散会した。

（斉城記）

シンボルマーク

佳作（A）　同　佳作（B）

キャラクター



佳作（A）　佳作（B）　佳作（C）

素朴な海辺の旅情
円後・久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
一推薦　法学部教授、拳法部顧問　堀　堅士先生一
生うに料理（1年中）
カニ料理（11月中旬～3月下旬）
カキ料理（11月中旬～3月下旬）
●その他ご予算に応じて料理いたします。
山陰海岸国立公園　旅館小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
■ご予約・お問い合わせは
☎（07728）3－0371（代）
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

内外国特許・特許・商標・出願全般
侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三一）七四三一（代）
国際フレックス〇五一－五九〇五　TSIPOL
ファックス〇六（五三一）七四三五

心にゆとりを…
車には安全と信頼を
北摂・堺地区の皆さまに民間車検工場のすぐれた技術とサービスを提供致します。
車検・定期点検は信頼される専門工場のご利用を！
お支払いはローンのご利用も承っております。
日産大阪タクシーキャブ販売株式会社
本社　〒561 大阪府豊中市上津島3丁目1番5号　電話（06）862－4423（代表）
堺営業所　〒593 大阪府堺市草部1132番地の2　電話（0722）73－3723（代表）

・自立した老後を！　財団法人　日本老人福祉財団
NEWOLDが選んだライフ・スタイル
神戸〈ゆうゆうの里〉
人生八十年時代へむけて、豊かで安心できる老後をすごしたい。神戸〈ゆうゆうの里〉は〝マンション〟プラス〝医療〟機能を備えた新しいタイプのコミュニティ。昭和60年秋には大阪にも誕生します。
・概要
所在地／神戸市北区鳴子3-2 交通／神戸電鉄、西鈴蘭台駅下車、徒歩10分 敷地面積／80,773㎡ 建築構造／鉄筋コンクリート造5階建 総戸数／291戸（残120戸）専用住居／Aタイプ32.2㎡（単身者向）Eタイプ64.4㎡（夫婦向）入居金（終身利用権）／Aタイプ1,443万円（単身者）Eタイプ2,336万円（単身者）、3,054万円（夫婦）管理費／35,000円～56,000円、水道、光熱費等実費必要 ※10年以内退居の場合、返済金制度あり 共用施設／有床診療所、大食堂、大浴場、集会室、農園他

入居者募集中
お問い合わせは　神戸〈ゆうゆうの里〉大阪事務所
〒530 大阪市北区曽根崎2-15-24 曽根崎東ビル
☎06（315）8231

TOMORROW! たしかな明日のために　住友信託銀行
財産づくりの早道！
住友の財産形成信託
●㊫300万円と合わせて800万円まで非課税。
●積立金は1,000円単位でしかも給料・ボーナスから天引きです。
●積立金は元金保証の住友の金銭信託・貸付信託を中心に運用しますから安全で高利回りです。
たしかな明日のために……幅広い業務をお役立てください。
●くわしい資料をお送りします。下記の住友信託銀行へご請求ください。
住友の貸付信託・住友の金銭信託
普通預金・通知預金・定期預金
不動産の売買の仲介・株式代理売買など
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目（住友ビル）
電話（06）220-2121（代）郵便番号541

全校友の力で100周年を成功させよう

各地で募金活動活発化

申込みの累計は10億円を突破

『母校の関西大学にとって、来るべき世紀の結節点がより輝かしく祝福すべきものとなるよう、われわれは、本日の討議の成果を踏まえ、全国の組織の総点を結集して、さらに一層の力を傾注する』――九月八日行われた全国組織代表者会議でこのようなアピールを宣言した。

校友会は全組織をあげて、母校創立一〇〇周年を意義あるものにするため、記念事業と、その寄金になる募金への協力を校友にうったえている。すでに校友会募金本部会議（本部長、樫本信雄校友会長）が設置され、五月十二日には組織代表者懇談会が開かれ、全国組織代表者会議のパネルディスカッションでも募金運動について熱のこもった質疑が行われた。各地域支部、職域支部・会、同期会、関係校友会、各種団体は総会や会合で募金活動の積極的な推進を決めて着々と実行に移している。

樫本校友会長は組織代表者懇談会で「記念事業に要する資金は校友のみなさん、学園関係者にご寄付をいただかなければなりません。記念事業の成否は募金の結果にかかっている。ぜひ、みなさんの協力をお願いしたい」とあいさつ、組織代表者会議でも「一〇〇周年を祝福するのはわれわれ校友が中心であり、またこの事業達成のため全校友が募金についても協力しなければならない。すでに多数の方々から多くの募金をいただいているが、また明年、明後年の期間があるので協力する体制を固めたい」と話している。

記念事業計画の大要

一、記念会館（仮称）の建設　十七億円

大学における学術研究の成果を発表し、それを社会に還元するための教育・文化的事業を恒常的に実施する学術文化センターとしての機能を備え、かつ国際交流や研究発表の場としての機能などを併せもつ会館を、千里山キャンパス近辺の適当な地に建設します。

その中には、講演会、公開講座、学会、国際会議などが開催可能な多目的ホール、研究、研修などに使用する中・小会議室、海外からの学者・研究者を招聘するにあたっての宿泊室、学園関係者が広く利用可能な交流ロビーなどを設けます。

二、セミナー・ハウスの建設　四億五千万円

大学教育に豊かな人間形成を導くため、教職員・学生が有効に利用できるセミナー・ハウスを、新しく取得する校地に建設します。

その中に、ゼミナール教室、会議室、談話室、宿泊施設などを設けます。

三、研究・教育振興基金の設定　八億円

研究水準を高め、教育の質の向上を図るため、次の基金を設けます。

(1)**国際交流基金（四億円）**

特定の学術研究又は調査のため教職員を、また、留学を希望する学生を選抜して、外国に派遣します。

(2)**学術研究助成基金（二億円）**

学生に対して、研究者養成のために学費を助成します。

(3)**教育助成基金（二億円）等**

本学関係者の優れた研究・学術調査等に助成します。

四、記念刊行物の出版と「内藤文庫」の設置　二億円

関西大学一〇〇年史、学術論文集、記念写真集の出版、記念映画の製作などの事業を行います。

東洋学の泰斗故内藤湖南・故内藤伯健の旧蔵にかかる典籍約三万冊を「内藤文庫」として設置します。

五、記念行事・記念式典の挙行　五千万円

学術講演会などの諸行事および記念式典を挙行します。

記念事業所要資金総額　三二億円

〈資金計画〉募金目標額二十九億五千万円
自己資金二億五千万円
〈注〉将来の情勢変化に伴い、本計画の内容が多少変更されるかもしれませんので了承願います。

募金目標達成に全力

稲野治兵衛副理事長の話（組織代表者会議のあいさつ、パネルディスカッションの答弁から）

日本の大学ですでに一〇〇周年を終えているのは早稲田、慶応のほかに明治、法政、専修、同志社などがある。それぞれ一〇〇年を契機にいろんな記念行事、募金をやっている。これは大学の一つの力だめしということにもなっている。そこで、一〇〇年史、学術論文集、記念写真集の出版、記念映画の製作などの事業を行います。

東洋学の泰斗故内藤湖南・故内藤伯健の旧蔵にかかる典籍約三万冊を「内藤文庫」として設置します。

五、記念行事・記念式典の挙行　五千万円

学術講演会などの諸行事および記念式典を挙行します。

募金目標達成に全力

稲野治兵衛副理事長の話（組織代表者会議のあいさつ、パネルディスカッションの答弁から）

日本の大学ですでに一〇〇周年を終えているのは早稲田、慶応のほかに明治、法政、専修、同志社などがある。それぞれ一〇〇年を契機にいろんな記念行事、募金をやっている。これは大学の一つの力だめしということにもなっている。そこで、一〇〇年史、学術論文集、記念写真集の出版、記念映画の製作などの事業を行います。

東洋学の泰斗故内藤湖南・故内藤伯健の旧蔵にかかる典籍約三万冊を「内藤文庫」として設置します。

五、記念行事・記念式典の挙行　五千万円

学術講演会などの諸行事および記念式典を挙行します。

記念事業所要資金総額　三二億円

〈資金計画〉募金目標額二十九億五千万円
自己資金二億五千万円
〈注〉将来の情勢変化に伴い、本計画の内容が多少変更されるかもしれませんので了承願います

関西大学 創立一〇〇周年記念事業資金 寄付申込者ご芳名 ③

〈敬称略〉
昭和59年9月30日現在

「関西大学創立一〇〇周年記念報」No3（創立一〇〇周年記念事業事務局発行）より転載。

〈個人〉の寄付については、寄付申込書に記入の氏名を掲載。関西大学の顧問・理事・監事は（役員）、教職員（嘱託及び外部団体の職員等を含む）は（教職員）、名誉教授・名誉校長及び退職者は（元教職員）と表示。また、学生・生徒・園児の父母、校友及び篤志家は原則として次の基準で（ ）内に住所の府県名、市名等を表示した。①大阪府、京都府、兵庫県については市・郡名。②その他の都・道・県については都・道・県名。ただし、都・道・県庁の所在地については市名。

〈法人〉〈団体〉の寄付については、寄付申込書に記入の法人名または団体名と代表者名を掲載。

個人

◆一〇〇〇万円
赤井　常隆（西宮市）

◆二〇〇万円
山崎　敬義（役員）
木村　吉治＝追加合計＝（大阪市）

◆一〇〇万円
荒井　政治（役員）
伊東　太平（大阪市）
倉谷　精一（大阪市）
末政　芳信＝追加合計＝（教職員）
柳楽　喜祐（尼崎市）
山下　正隆（教職員）

◆八〇万円
高堂　俊弥（教職員）

◆七五万円
一軸　浩幸（奈良県）

◆六〇万円
秋田鴻之助（教職員）
神堀　忍（教職員）
木下　正俊（教職員）
谷沢　永一（教職員）
津田　秀夫（教職員）
藤本　是（教職員）
松山　卓蔵（教職員）

◆五四万円
金田　弥吉（教職員）

◆五〇万円
赤松　勝也（教職員）
井上　克巳（寝屋川市）
井上　宏（教職員）
乾　昌明（吹田市）
岩野　次郎（元教職員）
大藤　能親（元教職員）
北村　光男（豊中市）
木村雄二郎（教職員）
楠　昭義（大阪・南河内郡）
小杉　毅（教職員）
小西　善雄（教職員）
坂本悠貴雄（教職員）
阪口　繁（奈良市）
杉本　孝一（教職員）
丹治　昭義（教職員）
徳田　恒光（高松市）
徳永　淳次（教職員）
中村育二郎（吹田市）
仲野　一雄（滋賀県）
西田　一彦＝追加合計＝（教職員）
伴　義孝（教職員）
藤善　真澄（教職員）
村上陽太郎（教職員）
山岡　泰造（教職員）
山下　栄一（教職員）
山本秀二郎（豊中市）
（匿　名）

◆四五万円
尾崎　実（教職員）

◆四〇万円
荒木　紀忠（教職員）
浅沼　民子（教職員）
池尻　孝子（教職員）
浦西　和彦（教職員）
江沢　義典（教職員）
葛馬　寿秀（教職員）
春日　淳一（教職員）
近藤　昌弘（教職員）
斎藤　忠彦（教職員）
神保　一郎（教職員）
清水　厚盛（教職員）
島崎　守（教職員）
関屋　俊彦（教職員）
高木　修（教職員）
段林作太郎＝追加合計＝（豊中市）
三宅　邦弥（教職員）
吉田　永宏（教職員）

◆三八万円
P・J・メイキン（教職員）

◆三五万円
奥村　透（教職員）
竹原　広一（教職員）
樋口　誠宏（教職員）
吉村　亮二（教職員）

◆三〇万円
市川　明（教職員）
神田　将司（広島市）
楠　貞義（教職員）
近藤ひさ子（教職員）
佐伯　武雄（大阪市）
佐藤万亀子（教職員）
坂井　昭夫（教職員）
坂出　祥伸（教職員）
坂本　武（教職員）
杉本　隆史（教職員）
中村　博夫（教職員）
彦坂　利久（吹田市）
福村　隆志（教職員）
松田　久（東大阪市）
吉澤　宏始（西宮市）

◆二五万五十二円
岡田　弘行（教職員）
五藤　勝三（教職員）
柴田　真一（教職員）
水野　浩二（教職員）

◆二五万円
安橋　貞雄（大阪市）
桂田良恵子（教職員）
前崎　晴子（教職員）

◆二〇万円
荒木　宏（大阪・南河内郡）
赤澤　淳平（加古川市）
浅野　昌可（香川県）
天野　昭一（奈良市）
天矢　景之＝追加合計＝（吹田市）
井上　峰一（大阪市）
井家　誠一＝追加合計＝（奈良市）
井料ひとみ（教職員）
石田　英子（教職員）
池田　市郎（神戸市）
浦　和男（藤井寺市）
上田　昇（大阪市）
押谷　富三（大阪市）
岡本　理一（北海道）
沖田　全弘（吹田市）
大喜多義信（堺市）
嘉田　庄三（鳥取県）
上条　正（和歌山市）
神前　一雄（東大阪市）
川井　潔（岡山市）
川本　清（広島県）
片山　俊一（京都市）
喜多　正信（那覇市）
菊宮　節子（芦屋市）
栗田　恵博（姫路市）
黒須　立雄（奈良市）
近藤　拓郎（吹田市）
小林　良子（教職員）
佐伯　弘（西宮市）
佐野雄一郎（神戸市）
篠崎　一雄（静岡市）
清水　健夫（豊中市）
杉本　弘（神戸市）
玉木　政志（東京都）
高橋　一郎（教職員）
田中　純子（教職員）
田中　男渉（箕面市）
土橋　良一（教職員）
出向井円蔵（東大阪市）
轟木　康親＝追加合計＝（神戸市）
富久　強（吹田市）
富谷　哲夫（札幌市）
永井　康雄（奈良市）
永原　康男（奈良市）
成畑　満春（京都・綾喜郡）
成瀬　光吉（名古屋市）
中田　隆（教職員）
中野　実（大阪市）
長尾　勝弘（姫路市）
長山　亨（岸和田市）
納谷　吉郎（堺市）
西澤　隆（兵庫・加古川）
西村　登（吹田市）
西村　季員（大津市）
西山　孝一（教職員）
野村　昇朗（神戸市）
萩　かづ子（岐阜県）
平島　貞次（徳島市）
深尾　眞男（滋賀県）
藤田乃夫幸（大津市）
本多　正人（豊中市）
松田　隆雄（津市）
光田　方輔（山口県）
三好　慶男（奈良県）
三好真次郎（奈良県）
森島　忠三（吹田市）
安本　友信（大阪市）
山口多賀蔵（長岡京市）
山田　忠次（神戸市）
山本　彰（教職員）
吉村　彰雄（八尾市）
吉村　精仁（大阪市）
脇山　芳隆（守口市）

◆一五万円
網本　浩幸（堺市）
清水　定夫（和歌山市）
住田　義秀（教職員）
中村　文格（教職員）
原　昭夫（西宮市）
森田　正（門真市）
吉野　庄三（茨木市）
吉野　和昭（大阪市）

◆一三万円
寺西　俊人（芦屋市）

◆一一万一千円
上田　清次（大阪市）

◆一〇万円
安保　謙作（尼崎市）
新井　孝信（高槻市）
赤座チサ子（大阪市）
井谷　修六（和歌山県）
井村　浩子（三重県）
池澤　捷洋（高知市）
池永　勲（奈良市）
猪本　哲夫（札幌市）
飯田　昭二（大津市）
梅嶋　健（長崎県）
遠藤　敏雄（埼玉県）
小川　健吉（名古屋市）
小川　真吾（長岡京市）
大倉　忠義（名古屋市）
柿沼　充（愛知県）
笠原　裕道（京都市）
笠松　義晴（松原市）
亀井　茂（豊中市）
数見　一子（大阪市）
川崎　宗一（八尾市）
川崎　健朔（奈良県）
片岡　平吉（姫路市）
岸本　明夫（尼崎市）
城ノ戸和夫（愛媛県）
楠　正君（池田市）
日下部茂貢（福岡県）
児玉　茂（山口県）
小泉　昌信（和歌山市）
小堺　弘（洲本市）
小島　治善（大阪市）
小谷　篤之（宝塚市）
小辻　容子（大東市）
小西　清茂（京都市）
小八重勝利（福岡県）
向上　廸夫（香川県）
柴原　初野（姫路市）
末永　守（岐阜県）
鈴木　元樹（宝塚市）
関根　幹雄（豊中市）
高橋　宗勝（広島市）
鷹野　拓二（守口市）
田中　愛子（大分県）
田野　数衛（東京都）
武井　正範（神戸市）
武内　正義（徳島市）
武田　覚（川西市）
近兼　洋是（岡山県）
綱島　照元（高槻市）
庖田　隆利（堺市）
轟　洋子（尼崎市）
堂本　勇（神戸市）
徳永　富郎（吹田市）
永井　豊作（東京都）
中野　寛成（豊中市）
中藤　正三（大阪市）
中村　昭博（大阪市）
中村　長栄（教職員）
中山　一義（岸和田市）
那須　旭（香川県）
縄田　昭一（山口県）
西川　和美（堺市）
西田　一郎（門真市）
西村　末治（西宮市）
延廣　房之（富田林市）
呑村　棟治（守口市）
野口　房雄（大阪市）
野崎　権治（山口県）
原島　徹（奈良県）
玄午（富山県）
林田　忠臣（長崎市）
林田　庸男（奈良県）
古家　和子（大津市）
藤中　英一（山口県）
細野　昇（金沢市）
堀田　智彦（河内長野市）
真壁　繁雄（大阪市）
正木　明（教職員）
宮本　泰男（守口市）
宮脇　浩（吹田市）
溝口　更生（河内長野市）
宗国　守男（奈良県）
村山　弘（奈良市）
山田　庸男（奈良県）
横尾　定雄（神戸市）
横村　昭二（山口県）
吉橋　鑛美（東京都）
吉本　卓二（岡山県）
渡部　紋衛＝追加合計＝（茨木市）
渡辺　正人（大阪・豊能郡）
渡辺　稔（神戸市）
鷲山　武（羽曳野市）

◆六万円
都成　教義（鹿児島県）
野村　勉（羽曳野市）

◆五万五千円
野々下一雄（枚方市）

◆五万三千円
小川宅之祐（奈良県）

◆五万円
阿部　潔（吹田市）
阿部　嘉一（枚方市）
安達　政章（京都・与謝郡）
安部　英昌（枚方市）
安辺　文彦（神戸市）
安東　治之（池田市）
安藤　雅恵（豊中市）
厚見　清和（神戸市）
荒木　義昭（栃木県）
荒木　実（静岡県）
荒田　忠勇（八尾市）
荒谷　満（富田林市）
秋山　昌信（岡山県）
青木桂一郎（神戸市）
赤井　澄（兵庫・多紀郡）
赤阪　勝美（宝塚市）
浅木　郁夫（大阪市）
浅地　久夫（石川県）
相原　肇（宝塚市）
朝井　宏（門真市）
東　邑明（豊中市）
明石　和久（高松市）
明石　秀夫（京都市）
有田　勝巳（広島市）
伊藤　正吉（大阪・泉南郡）
伊谷　勇（豊中市）
伊藤　明（三重県）
伊藤　幸夫（三重県）
伊吹　精郎（滋賀県）
井尻　昌一（神戸市）
井関　隆男（奈良市）
井田　宗明（富山県）
井上　勝行（神戸市）
井上　忠夫（和泉市）
井上　信義（山口県）
井上由利子（豊中市）
井上　良郎（寝屋川市）
磯田　確也（京都市）
稲岡　誠（羽曳野市）
家永　和昭（和歌山県）
岩崎　茂夫（池田市）
岩崎　猛（大阪市）
岩崎　幸雄（兵庫・美嚢郡）
五十嵐利夫（門真市）
今川　武（兵庫・朝来郡）
今城　忠夫（神戸市）
今林　雅春（京都市）
今村　精（吹田市）
市原喜世子（大阪市）
市場　康雄（吹田市）
石川　利雄（宝塚市）
石谷卯三郎（吹田市）
石田　年（豊中市）
石原　久弘（四条畷市）
石松　浩（福岡県）
今村　猛夫（広島市）
池上　一馬（摂津市）
池木　茂夫（豊中市）
池田　真一（山口県）
池田　順一（富田林市）
池田　清司（奈良県）
板野　清司（千葉県）
和泉　明生（豊中市）
磯田　隆（大津市）
宇都宮慎一（奈良県）
浦田　明男（尼崎市）
浦田　藤輝（寝屋川市）
浦塚　次郎（東京都）
浦野　治（奈良県）
浦野　成隆（福岡市）
上田　忠雄（西宮市）
上中　照一（泉南市）
上野山悦弘（大阪市）
上畑　光節（大阪市）
上原　三郎（尼崎市）
上松　亨（京都市）
上村　龍彦（岡山県）
植田　佳子（高槻市）
植村　秀夫（三重県）
梅崎　祥男（長崎県）
榎田　守雄（栃木県）
奥田　一雄（富田林市）
奥田　博之（大阪市）
奥西　茂樹（八尾市）
奥村　鴻吉（向日市）
奥村　満之（京都市）
岡田　信一（大阪市）
岡田　武久（千葉県）
岡田　伸志（岡山県）
岡松　且倫（加古川市）
植村　正弥（枚方市）
岡村　恒信（松江市）
岡本　茂（西宮市）
岡本　豊顕（大阪市）
岡本　実（宇治市）
小川　勇（羽曳野市）
小川栄次郎（茨木市）
小倉　毅（岡山県）
小田　利治（広島県）
小渡　信一（那覇市）
小野　康一（富田林市）
小原　功（芦屋市）
小幡　敏郎（奈良県）
小畑　文治（豊中市）
大石　皓介（京都市）
大川　龍三（八尾市）
大掛　文彦（八尾市）
大河原　保（茨木市）
大北　勝夫（河内長野市）
大久保正和（滋賀県）
大崎　進（広島県）
大住　義信（箕面市）
大塚　益夫（姫路市）
大槻　和雄（和歌山県）
大鳥　利文（大阪市）
大野　克之（大阪市）
大野昭七郎（姫路市）
大野　房枝（熊本県）
大橋　達雄（愛知県）
大橋　祐吉（守口市）
大濱　利郎（広島県）
大平　達（川西市）
大丸　力（堺市）
大村　勝男（堺市）
大室　一（高松市）
大森　清司（松原市）
尾家　百彦（大阪市）
尾辻　清（大阪市）
斧　忠男（伊丹市）
老後　常次（寝屋川市）
加藤　泰三（堺市）
加藤　巌（赤穂市）
加藤　巌（金沢市）
河合　章（大阪市）
河角　成生（神戸市）
河田與美治（堺市）
垣内　邦夫（西脇市）
笠原　一郎（岡山市）
梶田　為雄（東大阪市）
鎌田　泉（高砂市）
茅島　薫（豊中市）
亀井　宗七（奈良市）
亀井　正敏（岸和田市）
亀高久二郎（岡山市）
金林　正治（大阪市）
金子　悦子（大阪市）
金子　昇（石川県）
金田　浩直（神戸市）
金田　詩朗（福岡市）
金田　雅美（大阪市）
甲斐　亀夫（枚方市）
河野　慶信（奈良県）
香川　東吾（山口県）
狩野　直禎（京都市）
川北　好美（八尾市）
川島　千正（滋賀県）
川西　侖子（豊中市）
川畑　輝夫（大阪市）
川本　千秋（鹿児島県）
川本　順三（大阪市）
柏原　満（豊中市）
片岡　昭邦（岐阜県）
片岡　幸作（東大阪市）
門田　隆夫（尼崎市）
田野　敬衛（東京都）
田中　愛子（大分県）
田中　正範（神戸市）
田中　常夫（尼崎市）
田中　喜博（藤井寺市）
田中　実（大阪市）
田中　鎮夫（札幌市）
田中　康夫（愛知県）
田中　好朗（高石市）
田中　浩蔵（姫路市）
田中　元宣（岡山県）
北島　和久（佐賀県）
北嶋　昇（静岡県）
北野　良雄（神戸市）
北村　彰男（枚方市）
北村　彰伸（兵庫・加古郡）
木口　實（奈良県）
木村　毅（加古川市）
栗谷万次郎（八尾市）
栗山清右ェ門（尼崎市）
桑野　良一（大阪市）
桑原　貢（広島県）
桑山　政道（碧馬県）
黒田　忠明（守口市）
黒野　三郎（京都市）
草川　武（山口県）
草野　正彦（滋賀県）
蔵本　哲夫（徳島市）
毛勝　保（明石市）
柴折　茂（福島県）
越村　和夫（宇治市）
河野　節郎（西宮市）
河野　文彦（大阪・豊能郡）
近藤　太郎（西宮市）
後藤長十郎（枚方市）
好田　博（高槻市）
講殿　治幸（京都市）
昆野　正市（宮城県）
児山　芳彦（堺市）
小出　岩夫（愛知県）
小門　康二（岸和田市）
小谷　三郎（兵庫・朝来郡）
小谷　茂晴（枚方市）
小寺　役（広島県）
小西　教資（大阪・南河内郡）
小原　茂（岡山県）
小橋　忠司（福知山市）
小畑　隆男（和歌山県）
小島　雅由（大阪市）
小林　幸八（青森県）
小林　辰男（兵庫・多紀郡）
是沢千代松（吹田市）
佐々木克祐（茨木市）
佐藤　慶子（寝屋川市）
佐藤　正（仙台市）
佐藤　稔（大阪市）
佐藤　嘉紘（大阪市）
佐野壮太郎（川西市）
斎藤　修次（西宮市）
斎藤　純逸（伊丹市）
斎藤　武志（大津市）
坂井　幸雄（堺市）
坂木　信満（東大阪市）
坂口　俊尚（熊本市）
阪上　健治（宝塚市）
鷲　幸彦（芦屋市）
作田　叶孔（金沢市）
笹井　一（八幡市）
薩摩　寿（神戸市）
斉藤　久豪（大阪市）
斉藤　章（名古屋市）
相楽　俊暁（長岡京市）
澤井　清士（奈良県）
澤田　武彦（尼崎市）
澤田東一郎（京都市）
斎藤　斎（芦屋市）
斎藤　義人（西宮市）
下井豊太郎（西宮市）
下井　六郎（広島市）
下田　達男（三重県）
鹿田　幸治（大阪市）
庄司佐兵衛（福岡市）
城　慶喜（吹田市）
昇地　三郎（福岡市）
新須　真吾（山口県）
新納　嘉雄（寝屋川市）
新保　孝夫（豊中市）
清水　巧（福井市）
砂川トミ子（豊中市）
住吉　昭三（広島市）
勝呂　渕澄（神奈川県）
須賀　義人（愛知県）
須藤　寿子（尼崎市）
杉本　好弘（愛知県）
杉山　茂（静岡県）
末沢　丈夫（尼崎市）
新須　直行（奈良県）
鈴木　鎮夫（札幌市）
鈴木　康夫（愛知県）
関口　好朗（高石市）
瀬戸　浩蔵（姫路市）
仙田　元宣（岡山県）
千秋　哲夫（福井県）
善甫　耕一（加古川市）
園　憲男（岐阜県）
薗部連八郎（和歌山市）
高尾　通（京都市）
高木　孝夫（吹田市）
高草　保視（大阪市）
高倉一二三（福岡市）
高田　義一（加古川市）
高橋　文恵（広島市）
高橋　重夫（八尾市）
高橋　重明（大阪市）
高橋　昇（堺市）
高橋　政司（川西市）
高松　渡（広島県）
高見　末光（宮崎県）
草村　竹造（奈良県）
高村　勝（寝屋川市）
高山　能次（奈良市）
種村　俊雄（愛知県）
城　潤一（明石市）
滝沢　利一（山口県）
宅野　誠顯（東京都）
達富　正彦（岐阜市）
棚瀬　英雄（尼崎市）
谷　学（高松市）
谷　廣（福岡県）
谷垣　敬三（箕面市）
谷村　貞馬（尼崎市）
谷本　英治（岡山市）
樽谷　勝（宇治市）
竹内　宏（箕面市）
竹内　繁満（福井市）
竹川　博（池田市）
田垣　卓夫（岸和田市）
田中　一行（八尾市）
田中　理（宝塚市）
田中　耕吉（愛媛県）
田中　静夫（西宮市）
田中　鉦治（名古屋市）
田中　津義（福岡県）
田中　二朗（神戸市）
田中　廣（福岡県）
田中　正信（吹田市）
田中　稔（芦屋市）
田中　稔（伊丹市）
田中　義明（福岡県）
田中　義勝（守口市）
田村　昌則（大阪・南河内郡）
田湯　武雄（横浜市）
武田　栄次（東大阪市）
武田　幸雄（松原市）
武田　孝吉（茨木市）
茶谷　義男（長野県）
辻井　寛（宝塚市）
築森　昭（宝塚市）
津田　信行（大阪市）
塚田　嘉子（西宮市）
塚本　龍夫（大阪・豊能郡）
槻木　文夫（大分市）
坪田　賢郎（神戸市）
土川　昭一（大阪市）
土屋　俊二（名古屋市）
土谷　智彦（伊丹市）
寺西　悦子（東京都）
寺西　克美（大阪市）
勅使河原重雄（和歌山市）
外山　英男（池田市）
十都　正視（三木市）
栂谷　勲（神戸市）
土佐　年広（岡山県）
土井　一秋（尼崎市）
土井　功造（島根県）
堂本　博昭（堺市）
徳平　憲暁（神戸市）
頓戸　勇（守口市）
富岡　一正（岡山県）
富谷　隆雄（箕面市）
富田　弘（大津市）
冨田　芳孝（大阪市）
豊田　春夫（奈良県）
豊永　信雄（堺市）
當山　竹一（大阪市）
中江　博（豊中市）
中川　賢三（広島市）
中川　正秋（三重県）
中川　税（高松市）
中島　勇（大阪市）
中島　直矢（長岡京市）
中島　久綱（大阪市）
中瀬　憲一（吹田市）
中谷　啓二（泉佐野市）
中谷　耕蔵（大阪市）
中谷　豊（箕面市）
中西　千大（尼崎市）
中西　脩次（岡山市）
中野　進（広島市）
中野　良平（枚方市）
中原　満夫（四条畷市）
中村　晃（滋賀県）
中村　三郎（三重県）
中村　真一（三重県）
中村真佐次（和歌山市）
仲井　幸隆（池田市）
長尾　勝則（松江市）
長尾　正彦（和歌山県）
長崎　公平（茨木市）
長沢　健一（大阪市）
長澤　邦男（神戸市）
長島　彦志（愛知県）
長山　寿男（宝塚市）
奈須　良治（奈良市）
那須田　忍（静岡県）
鍋田　幸男（加古川市）
南野　彰一（大阪市）
半井　弘基（堺市）
名倉　正成（大阪市）
名倉　熊蔵（豊中市）
梨原　正好（奈良県）
西尾　昭一（寝屋川市）
西尾　英夫（和歌山市）
西岡　義輝（大阪市）
西川　敏春（西宮市）
西川　清（西宮市）
西田　克己（松原市）
西田　昭治（熊本県）
西田　一男（京都市）
西村　和子（東京都）
西村　勝利（山口県）
西村　恵史（堺市）
西村　十郎（姫路市）
西村　誠司（堺市）
根岸　郁子（羽曳野市）
能美　史朗（東京都）
野口　孝弘（吹田市）
野口　忠（奈良県）
野田　靖（伊丹市）
野出　武志（泉佐野市）
野原　龍治（名古屋市）
野村　吉治（箕面市）
野村　雅久（羽曳野市）
野山多喜男（神戸市）
花井　勇（舞鶴市）
花岡　勇（西宮市）
花城　武雄（吹田市）
花房　和夫（岡山市）
花谷日出男（岡山県）
橋本　和夫（大阪市）
橋本　修（大阪市）
原　享可（高松市）
原田　英司（和歌山県）
早川　茂蔵（茨木市）
長谷川春雄（相生市）
長谷川　久（竜野市）
櫨山　重隆（豊中市）
畑谷　幸子（奈良市）
八田　勘了（宝塚市）
半田　安實（吹田市）
服部　隆文（三重県）
林　茂生（大津市）
林　茂正（岡山県）
林　信雄（和泉市）
久保　欣哉（奈良市）
久野　清彦（加古川市）
日置　淳雄（枚方市）
日比　義郎（西宮市）
比戸　勲（伊丹市）
樋口　秀夫（吹田市）
樋口　和之（鳥取県）
平井　博道（吹田市）
平尾　元信（岡山県）
平木　武（川西市）
平野　郁雄（大阪・南河内郡）
平野　勝利（吹田市）
平林　勇二（和歌山県）
廣畑　東治（八尾市）
古河　純一（宝塚市）
古田　志市（名古屋市）
古田　浩（神奈川県）
深川　武司（佐賀県）
藤井　正二（鳥取市）
藤岡　秀一（尼崎市）
藤木　幸雄（寝屋川市）
藤澤　英也（愛知県）
藤田　龍雄（徳島県）
藤田　征夫（豊中市）
藤谷　祐一（鳥取県）
藤野　守（堺市）
藤橋　秀臣（滋賀県）
藤本　文夫（神戸市）
藤本　俊郎（松原市）
藤森　久雄（愛知県）
藤森　逸男（神戸市）
藤森　勉（宝塚市）
藤原　和子（神戸市）
藤原　雅明（兵庫・多可郡）
藤田　勝利（茨木市）
福田　正勝（茨木市）
福永　勝（大阪市）
福畑　忠雄（三重県）
戸次　公成（泉大津市）
細見　誠（尼崎市）
布袋　照三（愛知県）
保科　幸男（尼崎市）
堀　真人（兵庫・多紀郡）
堀下吉三郎（宝塚市）
本多　清（京都・乙訓郡）
丸井　弘全（藤井寺市）
丸岡　正夫（箕面市）
松井　重雄（大津市）
松石　善市（奈良市）
松浦　裕之（大阪市）
松岡　欣一（広島県）
松岡　武之（徳島市）
松倉　毅（山口県）
松倉　清（大阪市）
松崎　貢（大阪市）
松島　昭夫（長崎県）
松田　龍夫（西宮市）
松野　悟（山口県）
松本　啓二（尼崎市）
松本　武夫（神戸市）
松本とも子（宝塚市）
正井　清（岡山市）
前　政利（豊中市）
前垣　一雄（枚方市）
前田　幸男（横浜市）
前田　実（四条畷市）
前田百合男（尼崎市）
前山作二郎（堺市）
増井　明利（大阪市）
増井　正（神奈川県）
増岡　勝（三重県）
増田　昭三（岐阜県）
雅男（大阪市）
牧野　正彦（神戸市）
牧野　重久（愛媛県）
牧村　正夫（大阪市）
宮田　守夫（岡山市）
宮原　成光（尼崎市）
宮西　博（岡山県）
宮本　勝蔵（大阪市）
宮本　博（広島市）
宮森　秀夫（東大阪市）
宮脇　敏（福岡県）
溝口　靖人（鳥取県）
三尾　豊（和歌山県）
三谷　康良（東大阪市）
三井　勇（和泉市）
三本　一郎（豊中市）
三原　尚武（教職員）
三村　政美（岡山市）
三宅　輝佳（豊岡市）
三吉　康弘（山口県）
三輪　佳明（岐阜県）
水沢かおる（埼玉県）
水沢　弘美（尼崎市）
水田　礼二（大東市）
水本　光冲（広島市）
向井　重治（箕面市）
宗像　司（広島市）
村井　豊秋（高知県）
村上　武夫（大阪市）
村上　真則（大阪市）
村上　敦朗（兵庫・朝来郡）
村上　清一（奈良県）
村上　孝（守口市）
村上　守（堺市）
村上　義幸（神戸市）
村田　善正（八尾市）
村田　稔（広島県）
村田　貢一（三重県）
森　慶次（豊中市）
森　俊雄（松山市）
森口　義雄（大阪市）
森田美佐夫（京都市）
森田　光寿（北海道）
森塚　真治（福井県）
森本　守夫（大阪市）
森本　康雄（神戸市）
森　克司（大阪市）
文字　秀祐（京都市）
望月　純（佐賀県）
村木　保（尼崎市）
安岡　登章（和歌山県）
安川　久雄（尼崎市）
安田真大郎（尼崎市）
安本　恭二（兵庫・美方郡）
山川　重弥（名古屋市）
山上　寿（東大阪市）
山岸　洋子（大阪市）
山口　儀由（茨木市）
山口富士雄（三重県）
山口　順三（吹田市）
山越　孝一（大阪市）
山下　一郎（神戸市）
山下　光男（和歌山県）
山田　謙二（長野県）
山田　富雄（静岡県）
山地　正彦（埼玉県）
山中　成夫（大阪市）
山西　静子（神戸市）
山本栄一郎（池田市）
山本　寛二（神戸市）
山本　克己（東大阪市）
山本　晟伍（和歌山県）
山本　正美（大阪市）
保田　徳雄（高槻市）
矢上俊一郎（神戸市）
矢野　博（広島県）
簗瀬　鴻明（奈良市）
行定　稔雄（大東市）
湯浅　友二（大阪市）
横井　功（豊中市）
横尾　勝也（長崎県）
吉川喜代士（福井市）
吉川　進（尼崎市）
吉川　富雄（尼崎市）
吉川　正則（滋賀県）
吉田弥太郎（泉大津市）
吉田　重則（奈良市）
吉田　泉（福岡県）
吉田　徹也（西宮市）
吉田　正夫（長崎市）
吉田　正行（岡山市）
吉田　征夫（岐阜県）
吉村　正武（神奈川県）
米田　文一（名古屋市）
米田　若実（大阪市）
米田　輝美（大阪市）
米本　優（奈良市）
由村　晴男（枚方市）
渡辺　孝子（教職員）
渡辺　昭重（堺市）
和田　久一（岸和田市）
和田　泰次（堺市）
和知　リノ（神戸市）
脇本　正夫（高槻市）
鷲崎　巍（大阪市）
鷲辺　定美（香川県）
（匿　名）

◆三万円
青木　康明（明石市）
伊藤　玉夫（赤穂市）
岩熊　愛子（福岡県）
岩田　昭治（吹田市）
緒方フミ子（熊本県）
岡田　晋治＝追加合計＝（大阪市）
川西　隆子（高石市）
合田　実夫（奈良市）
中川　孝雄（滋賀県）
中島　愛治（宇治市）
那須　元（大阪市）
渕上　信一（伊丹市）
前田　諭志（吹田市）
増田　豊（徳島市）
山本　健二（尼崎市）

◆二万円
永栄　弘（大阪市）
阪井正太郎（西宮市）
田中　一男（山口県）
陳　徳仁（神戸市）
出口　政次（堺市）
冨森　直行（伊丹市）
中村　弘明（大東市）
中村貞太郎（滋賀県）
園　憲男（岐阜県）
薗部連八郎（和歌山市）
高尾　通（京都市）
高木　孝夫（吹田市）
高草　保視（大阪市）
高倉一二三（福岡市）
高田　義一（加古川市）
高橋　文恵（広島市）
高橋　重夫（八尾市）
高橋　重明（大阪市）
高橋　昇（堺市）
高橋　政司（川西市）
高松　渡（広島県）
高見　末光（宮崎県）
高村　竹造（奈良県）
高山　勝（寝屋川市）
種村　能次（奈良市）
城　俊雄（愛知県）
滝沢　潤一（明石市）
宅野　利一（山口県）
達富　誠顯（東京都）
棚瀬　正彦（岐阜市）
谷　英雄（尼崎市）
谷　学（高松市）
谷垣　敬三（箕面市）
谷村　貞馬（尼崎市）
谷本　英治（岡山市）
樽谷　勝（宇治市）
竹内　宏（箕面市）
竹内　繁満（福井市）
竹川　博（池田市）
田垣　卓夫（岸和田市）
田中　一行（八尾市）
田中　理（宝塚市）
田中　耕吉（愛媛県）
田中　静夫（西宮市）
田中　鉦治（名古屋市）
田中　津義（福岡県）
田中　二朗（神戸市）
田中　廣（福岡県）
田中　正信（吹田市）
田中　稔（芦屋市）
田中　稔（伊丹市）
田中　義明（福岡県）
田中　義勝（守口市）
田村　昌則（大阪・南河内郡）
田湯　武雄（横浜市）
武田　栄次（東大阪市）
武田　幸雄（松原市）
武田　孝吉（茨木市）
茶谷　義男（長野県）
辻井　寛（宝塚市）
築森　昭（宝塚市）
津田　信行（大阪市）
塚田　嘉子（西宮市）
塚本　龍夫（大阪・豊能郡）
槻木　文夫（大分市）
坪田　賢郎（神戸市）
土川　昭一（大阪市）
土屋　俊二（名古屋市）
土谷　智彦（伊丹市）
寺西　悦子（東京都）
寺西　克美（大阪市）
勅使河原重雄（和歌山市）
外山　英男（池田市）
十都　正視（三木市）
栂谷　勲（神戸市）
土佐　年広（岡山県）
土井　一秋（尼崎市）
土井　功造（島根県）
堂本　博昭（堺市）
徳平　憲暁（神戸市）
頓戸　勇（守口市）
富岡　一正（岡山県）
富谷　隆雄（箕面市）
富田　弘（大津市）
冨田　芳孝（大阪市）
豊田　春夫（奈良県）
豊永　信雄（堺市）
當山　竹一（大阪市）
中江　博（豊中市）
中川　賢三（広島市）
中川　正秋（三重県）
中川　税（高松市）
中島　勇（大阪市）
中島　直矢（長岡京市）
中島　久綱（大阪市）
中瀬　憲一（吹田市）
中谷　啓二（泉佐野市）
中谷　耕蔵（大阪市）
中谷　豊（箕面市）
中西　千大（尼崎市）
中西　脩次（岡山市）
中野　進（広島市）
中野　良平（枚方市）
中原　満夫（四条畷市）
中村　晃（滋賀県）
中村　三郎（三重県）
中村　真一（三重県）
中村真佐次（和歌山市）
仲井　幸隆（池田市）
長尾　勝則（松江市）
長尾　正彦（和歌山県）
長崎　公平（茨木市）
長沢　健一（大阪市）
長澤　邦男（神戸市）
長島　彦志（愛知県）
長山　寿男（宝塚市）
奈須　良治（奈良市）
那須田　忍（静岡県）
鍋田　幸男（加古川市）
南野　彰一（大阪市）
半井　弘基（堺市）
名倉　正成（大阪市）
名倉　熊蔵（豊中市）
梨原　正好（奈良県）
西尾　昭一（寝屋川市）
西尾　英夫（和歌山市）
西岡　義輝（大阪市）
西川　敏春（西宮市）
西川　清（西宮市）
西田　克己（松原市）
西田　昭治（熊本県）
西田　一男（京都市）
西村　和子（東京都）
西村　勝利（山口県）
西村　恵史（堺市）
西村　十郎（姫路市）
西村　誠司（堺市）
根岸　郁子（羽曳野市）
能美　史朗（東京都）
野口　孝弘（吹田市）
野口　忠（奈良県）
野田　靖（伊丹市）
野出　武志（泉佐野市）
野原　龍治（名古屋市）
野村　吉治（箕面市）
野村　雅久（羽曳野市）
野山多喜男（神戸市）
花井　勇（舞鶴市）
花岡　勇（西宮市）
花城　武雄（吹田市）
花房　和夫（岡山市）
花谷日出男（岡山県）
橋本　和夫（大阪市）
橋本　修（大阪市）
原　享可（高松市）
原田　英司（和歌山県）
早川　茂蔵（茨木市）
長谷川春雄（相生市）
長谷川　久（竜野市）
櫨山　重隆（豊中市）
畑谷　幸子（奈良市）
八田　勘了（宝塚市）
半田　安實（吹田市）
服部　隆文（三重県）
林　茂生（大津市）
林　茂正（岡山県）
林　信雄（和泉市）
久保　欣哉（奈良市）
久野　清彦（加古川市）
日置　淳雄（枚方市）
日比　義郎（西宮市）
比戸　勲（伊丹市）
樋口　秀夫（吹田市）
樋口　和之（鳥取県）
平井　博道（吹田市）
平尾　元信（岡山県）
平木　武（川西市）
平野　郁雄（大阪・南河内郡）
平野　勝利（吹田市）
平林　勇二（和歌山県）
廣畑　東治（八尾市）
古河　純一（宝塚市）
古田　志市（名古屋市）
古田　浩（神奈川県）
深川　武司（佐賀県）
藤井　正二（鳥取市）
藤岡　秀一（尼崎市）
藤木　幸雄（寝屋川市）
藤澤　英也（愛知県）
藤田　龍雄（徳島県）
藤田　征夫（豊中市）
藤谷　祐一（鳥取県）
藤野　守（堺市）
藤橋　秀臣（滋賀県）
藤本　文夫（神戸市）
藤本　俊郎（松原市）
藤森　久雄（愛知県）
藤森　逸男（神戸市）
藤森　勉（宝塚市）
藤原　和子（神戸市）
藤原　雅明（兵庫・多可郡）
藤田　勝利（茨木市）
福田　正勝（茨木市）
福永　勝（大阪市）
福畑　忠雄（三重県）
戸次　公成（泉大津市）
細見　誠（尼崎市）
布袋　照三（愛知県）
保科　幸男（尼崎市）
堀　真人（兵庫・多紀郡）
堀下吉三郎（宝塚市）
本多　清（京都・乙訓郡）
丸井　弘全（藤井寺市）
丸岡　正夫（箕面市）
松井　重雄（大津市）
松石　善市（奈良市）
松浦　裕之（大阪市）
松岡　欣一（広島県）
松岡　武之（徳島市）
松倉　毅（山口県）
松倉　清（大阪市）
松崎　貢（大阪市）
松島　昭夫（長崎県）
松田　龍夫（西宮市）
松野　悟（山口県）
松本　啓二（尼崎市）
松本　武夫（神戸市）
松本とも子（宝塚市）
正井　清（岡山市）
前　政利（豊中市）
前垣　一雄（枚方市）
前田　幸男（横浜市）
前田　実（四条畷市）
前田百合男（尼崎市）
前山作二郎（堺市）
増井　明利（大阪市）
増井　正（神奈川県）
増岡　勝（三重県）
増田　昭三（岐阜県）
雅男（大阪市）
牧野　正彦（神戸市）
牧野　重久（愛媛県）
牧村　正夫（大阪市）
宮田　守夫（岡山市）
宮原　成光（尼崎市）
宮西　博（岡山県）
宮本　勝蔵（大阪市）
宮本　博（広島市）
宮森　秀夫（東大阪市）
宮脇　敏（福岡県）
溝口　靖人（鳥取県）
三尾　豊（和歌山県）
三谷　康良（東大阪市）
三井　勇（和泉

戦火くぐったノート
英文学専攻 遠藤さんが寄贈
第一回生

昭和三年春、関西大学法文学部に初めて「英文学専攻」が開講された。その第一回生が、東京と疎開先の甲府で、二度も戦災にあいながら宝物のように保存してきた講義ノートを、十月初め母校年史資料編集室に寄贈した。大学ノートには講義 第一回生一年 遠藤敏雄、もう一冊にもWORDSWORTH研究 内多精一先生の講義と表記してある。贈り主の遠藤さんは東洋大学名誉教授、文学博士で七十八歳、埼玉県入間市仏子一六八九在住。これより先、九月二十四日、遠藤さんは専門部（福島学舎）、学部（千里山学舎）の学生時代と、母校学報局（天六学舎）勤務時代について、同僚だった神屋敷民蔵・前校友会事務局長とつかしげに語りあった。

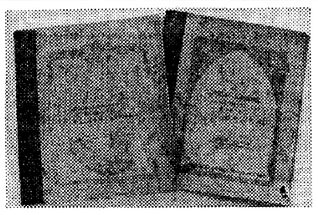
文芸学科的な文学科

遠藤さんが関大専門部文学科に入学したのは大正十四年で、二期生。その前年に誕生した文学科は大阪ではユニークな存在だった。

カリキュラムは国語、漢文、英語、フランス語をはじめ哲学、美学、社会学などのほか、「劇の研究」もあった。

坪内士行先生　シェークスピア「ジュリアス・シーザー」

豊岡佐一郎先生　「ザ・スタディ・オブ・ドラマ」など。


寄贈されたノート

ノートを寄贈した遠藤氏

坪内先生は、宝塚少女歌劇の文芸部長で、月給三百円といわれる人気教授だった。豊岡先生の英語劇は俳優志村喬を育てた。学生も出演できるので楽しみにして、文学科というより文芸学科的な色彩が強かった。

英語は、村上喜貞先生がハマートン「インテレクチュアル・ライフ」、八木又三先生がスチーブンソン「宝島」など、フランス語も徳尾俊彦先生のデュマ「椿姫」といずれも原書を使った。

福島学舎の難点は、照明がハタカ電球でテキストが読みづらく、「立って講義する先生は電灯に近いのでうらやましい」と思うほどだった。

高度な講義内容

学部の英文学専攻の教授陣には村上喜貞、細江逸記、堀正人、内多精一、矢口孝次郎、滝川規一らの諸先生がいた。堀先生（名誉教授）は新進気鋭で、英文学史はノート、英文学はシェークスピア「ソネット」（一年生）、ミルトン「失楽園」（二年生）で、かなり高度な内容だった。

二年生のとき、名著「英文法汎論」のある細江先生の英語学に強い影響を受け、文体論に興味を持った。専門部で習った「宝島」の面白さがドッキングして、スチーブンソンの文体研究へと発展。その論文が、文学博士号（昭和36年5月、東洋大学）につながった。

千里山時代に一番手こずったのは、天野貞祐先生の哲学概論。哲学専攻と英文専攻の合併授業で、カント「実践理性批判」の原書を訳しながら敷衍（ふえん）していくく講義だった。訳についていくのが精いっぱいだった。

おんぶ通学の友情

遠藤さんは専門部一年の学年末試験のさい、関節炎を病み、歩けなくなった。その時、同級生K君（特に名を秘す）は遠藤さんを背負って国鉄高槻駅まで三キロを歩き福島学舎へ送迎してくれた、という。

また、北区桜橋にあった旧通大阪支店に勤めながら通学していた遠藤さんは、教務主任、木戸卯之助氏に「三年間、首席で通せば、学部に推薦してあげる」と励まされ、昭和三年専門部卒業とともに母校教務課に採用となり、学部進学もかなった。当時、学報局にいた森川太郎氏（第二十四代学長）が専門部講師に転じたのにともなう欠員補充であった。初任給六十円、授業料は月額十円だった。

教務課から学報局（千里山）に移って昭和九年春、退職するまで「関西大学学報」の編集、発行にあたった。天六学舎の竣成にともない、昭和四年九月、学報局も移転、神屋敷民蔵氏（文＝昭4専文＝とベアを組んだ。八、十二月を除き毎月十五日に約八千部発行、学生への配布は、窓口で学生証に押印して手渡していた。OBには郵送料こみで八十円程度だった。

昭和三年の初講義ノート出現のニュースに週一回、大学院で講義している堀正人名誉教授（文＝は「ほう、六十年近い昔のノートを持っているとは」と、驚ろきながら、こう語った。

「村上喜貞先生が、文学部開設のため調査、研究に外遊するので一年間代役を頼まれたのが、そもそもの始まりで、京都大学の大学院に在籍のまま出講した。私より年長の学生も多かった。当時、文学の世界はロマンチシズムで、ユートピックな考え方をしており、今から思えば、むずかしい講義をしたようだ。遠藤さんはきれいな字を書く人で、記憶に残っている」

（年史資料編集室　篠原茂一）

■勇敢にチャレンジ

「プロデューサーは一つの作品をすべて取り仕切るから責任は非常に重い。最近の映画は大作が多いので失敗すれば取り返しのつかないことになる。それだけ危険の大きい仕事だから、スポーツと同様、ハングリーでないとやれませんよ」

「ゴジラのプロデューサー」として世界にその名が知られる田中さんだが、すでに同世代の“現役”プロデューサーは一人もいないという。その田中さんが残念に思うのは、映画界に関大出身者が少ないことだ。後輩に対して、こう励ましの言葉をおくった。

「関大にも日大のような芸術学部があればいいのだが…。早稲田や慶応などは大挙して入社試験を受けに来ますよ。チャンスはみずからの手で作るべきです。もっと勇敢にチャレンジしてほしい」

■「ゴジラ」をぜひ

ところでこの夏公開された「零戦燃ゆ」は、今一歩の成績だったという。今回の「ゴジラ」はコンピュータを駆使したリアルな動きが特徴。「ぜひ、ご覧になってください」。新たな魅力とともに、「ゴジラ」は十二月十五日、日本全土に“上陸”する。

（年史資料編集室、熊博毅）

関大生の映画界進出をチャンスは自らつくれ
東宝社長田中氏　後輩に望む

昭和二十九年の公開と同時に、一躍トップスターの座についた怪獣「ゴジラ」その「ゴジラ」が三十年ぶりに新しくなって“帰ってくる”。

九月二十五日、「ゴジラ」の生みの親として有名な田中友幸東宝社長＝（文＝昭10大経・東京都渋谷区神宮前六丁目三五―三―二〇三＝を訪問し、半世紀前の学生生活と、みずからの映画人生をふりかえってもらった。

■再会したい「千里山」

昭和十九年以来、田中さんの製作した映画は二百四十本以上。関大予科時代は週に五、六本の映画を見た時期もあったという。さらには同人雑誌の発行や新劇活動にも手をひろげ、授業には週に二日ほどしか出られなかった。

「予科在学中は新聞部に在籍したが、昭和七年、学部に進学してからは同人雑誌『千里山』を発行した。友人吉田三七雄君（昭10大法、本学理事）と二人で主宰し、数名の学生と学外の協力者が参加して編集した。一回に五百から千部を大同書院から出版し、一冊一円くらいで販売したはずだ」

この雑誌は全部で七、八号発行され、田中さん自身も大瀬滝夫のペンネームで何度か小説を執筆。それは、同人雑誌の批評家からほめられるほどの出来ばえだった。

ところがこの思い出の雑誌も、戦中、戦後の混乱期にいつの間にか散逸して、今は手元に一冊も残っていない。

「ぜひもう一度、あの本を手にしてみたい。どなたかお持ちの方はいないでしょうか」と田中さんは語っている。

■熱中した演劇活動

田中さんが、同好の学生たちといっしょに結成した「劇団新響劇場」は、昭和七年四月二十四日、南区の日簡ビルで旗揚げ公演をした。

「二日間の上演で千五百人くらい集まった。とにかく超満員だった。入場料は一円だったと思う」

劇団活動での田中さんの仕事はもっぱら演出・脚色。脚本作りはその頃大学で「七月座」「演劇研究会」を主宰していた豊岡佐一郎講師（宝塚国民座演出家）から手ほどきを受けた。

この「新響劇場」は、田中さんが関大を卒業した昭和十年頃、学外の新劇好きの人たちを加えて新たに「大阪協同劇団」としてスタートした。活動資金を捻出するためBK（NHK大阪）で効果係のアルバイトを続けたりして、年二回以上の定期公演を行った。しかし、昭和十四年、時局を反映した「新劇団解散命令」により「大阪協同劇団」はとうとう解散。これをきっかけに田中さんは映画界入りをすることになった。

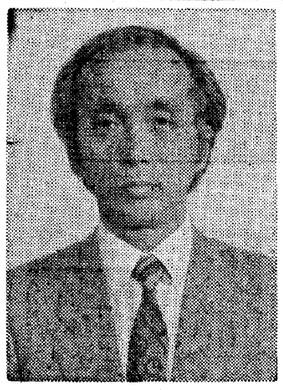
田中友幸さん

新お時間拝借
校友あれこれ対談 (23)

聞き手　吉田　三七雄

手弁当でカツドウ屋
映画界の荒海を泳ぎきる
志願

㈱大映企画代表取締役社長　溝口　勝美氏


溝口　勝美氏

吉田　こんどはまた、えらい大作に取り組んでいるそうやねえ。

溝口　いったい、どこからお聞きになったんです？

吉田　どこからということじゃないけど、やっぱり、蛇（じゃ）の道はなんとやらで。（笑い）

溝口　怖いなあ！（笑い）いや、別に秘密にしているわけじゃないんです。大作というようなもんじゃありませんが、ただ、製作にえらい時間がかかりますので……。なにもかもご存知の上でおっしゃってるんだと思いますので、なにもかもぶっちゃけますと、まだ仮の題名ですが『盲導犬物語』というのを企画・構成して、監督も引き受けて製作にとりかかったところなんです。

吉田　『盲導犬物語』……。面白そうやねえ。ドラマ？

溝口　ドキュメンタリー・ドラマということになるでしょうねえ。盲導犬というのは、いくら血統がよかっても、生まれてきた子犬が全部盲導犬になれるとは限っていないんです。いま三匹の子犬をカメラで追いつづけていますが、そのうちのどれかが盲導犬になるまでには二年かかりますし、三匹とも駄目なら、パーというわけです。まあ、パクチです。（笑い）

吉田　えらいこっちゃぬえ。うまく完成したら、大努力作ということや。成功を祈ります。

溝口　有難うございます。

吉田　ところで、カツドウ屋になったのはいつ頃から？いや、どうも失礼。カツドウ屋なんて。

溝口　いいえ、それでいいんですよ。カツドウ屋にいいという人間が多かったんですねえ。

吉田　それに合格したんでしょ？大した秀才やねえ。

溝口　運がよかったんでしょう。その頃の大映の社長は永田雅一さんで、川口松太郎さんが専務でした。辻　久一さんが有能プロデューサーとして活躍中で、溝口健二監督作品の企画者は僕と違ってえらい勉強家で、小学校の五年から市岡中学に入り、中学四年から松江高校、そして東大に入った秀才だった。早死にしたのは惜しかったねえ。

溝口　その辻さんの指導を受けて、企画部に在籍中、八作品の企画を担当しましたが、そのうちの大作はビスタビジョンの第一回作品で、室生犀星原作、伊藤大輔監督、主演京マチ子、鶴田浩二、山村聡の『地獄花』でした。昭和三十一年の秋に助監督に転籍その後昭和四十五年に退社するまで現場勤務でした。担当した作品は百本前後になりましょうか。その頃の大映スターは、男優では長谷川一夫、市川雷蔵、勝新太郎、黒川弥太郎、本郷功次郎、菅原謙二、根上淳、川崎敏三、川口　浩、船越英二、それに例の大河内伝次郎など。女優では京マチ子、山本富士子、若尾文子、叶　順子、江波杏子、藤村志保、関根恵子、中村玉緒、松坂慶子などがいて、賑やかなものでした。

吉田　退社したのには、なにか理由があったの？

溝口　昭和四十五年頃に兵庫県の豊岡の中学校を出て、兵庫県庁に勤めながら二部の法律学科に入り、昭和二十八年に卒業して、その年の五月に大映京都撮影所の企画研究生の入社試験を受けたんです。その当時は唯一の公募で、百二十人に一人という競争率でした。私と同じように、手弁当でもカツドウ屋になりたいと思ってたくさんいたんですよ。カツドウ屋にはえらい大変なことなんだ、知らん人が多いでしょうが、カツドウ屋はカツドウ屋です。先輩だって、新聞記者時代にはブン屋と呼ばれていたんでしょ。

吉田　そうや、ブン屋は、ブン屋、別段どうも感じなかったねえ。

溝口　そうでしょ。私、椒太夫』などを担当して『山　藤大輔監督、主演京マチ子、鶴田浩二、山村聡の『地獄花』でした。昭和三十一年の秋に助監督に転籍その後昭和四十五年に退社するまで現場勤務でした。担当した作品は百本前後になりましょうか。その頃の大映スターは、男優では長谷川一夫、市川雷蔵、勝新太郎、黒川弥太郎、本郷功次郎、菅原謙二、根上淳、川崎敏三、川口　浩、船越英二、それに例の大河内伝次郎など。女優では京マチ子、山本富士子、若尾文子、叶　順子、江波杏子、藤村志保、関根恵子、中村玉緒、松坂慶子などがいて、賑やかなものでした。

吉田　退社したのには、なにか理由があったの？

溝口　昭和四十五年頃に参加させていただき、留学生たちと行動を共にした。三泊四日だが車中が二泊というハードスケジュール。寝台車も硬臥車（普通寝台）だったが、非常に楽しかった。行先は承徳、ここには清王朝の避暑山荘のほか、周囲に満州族、蒙古族、チベット族などが建てたラマ教の寺院がある。満州族の清朝は漢民族以外の小数民族を優遇することにより均衡を保とうとした一つの現れである。一度は行って見たいとかねてより思っていた所なので、参加できたことは非常にうれしかった。

この旅行を最も楽しんだのは筆者だったかもしれないが、承徳のそれは規模も大きく、仏像も初めて見るものが多かった。筆者の趣味とピッタリと合致したせいかもしれないが、広い寺院内を動き回っても、それほど疲労を感じなかった。ただもう少しゆっくりと観賞したかったという思いは残っている。機会があればもう一度行って見たい所である。

それはともかく、この旅行には遼寧大学以外の瀋陽にある医科大学や工学院大学の留学生も一諸だった。したがって、その数は百人以上、しかもアラブ人や黒人も多かった。中国の第三世界に対する外交政策のあらわれかもしれないが、それを見て、つい「日本政府は……」という気になった。

中国の都市の中での瀋陽の地位はやはり地方都市といってよいだろう。そこにある大学でも百人以上の留学生を受入れているのである。日本の場合、東京、京都、大阪あたりは留学生も多いが、地方都市で百人以上もの留学生が滞在する所はあるのだろうか。日本の大学の留学生受入れ体制が気になった、次第である。

旅行には魔法ビンを

この旅行以外はいつも軟臥車（特別寝台車）や軟座車（特別車）で旅行していたので気付かなかったが、旅行には魔法瓶を用意していた方が何かと便利だということだった。軟座車の場合には魔法瓶と茶碗は車内に置かれているが、硬臥車などの場合にはお湯をヤカンに入れて置かれているだけである。したがって、コップがなければお湯も飲めない。そんな時、お茶の葉と魔法瓶があれば便利なのである。また観光地へ行っても日本のように食堂や喫茶店があるとは限らない。自転車の荷台に箱をつんだアイスキャンデー屋がどこにもいるから、それはよく食べたが、時にはお茶が欲しくなることもあった。そんな時やはり魔法瓶があればと思った。

中国各地への旅行
遼寧大学にて（終）

工学部応用化学科教授　大岩正芳

夏休みは七月一日から八月二十日まで、冬休みは一月十七日から三月末まで。留学生はその間を利用して中国各地を旅行することができる。その扱いは一般の中国人大学生と全く同じ。一泊十二元が規定だが、各地の大学の留学生宿舎を利用すれば三元程度で泊れる。食費交通費などを含めても一日二十元という見当でよいそうだ。一人でウイグルの国境付近まで旅行してきたという快男児もいた。

留学生に対し春のメーデー前後と秋は国慶節前後の休みの期間を利用して、遼寧省による招待旅行が行われていた。筆者もその旅行

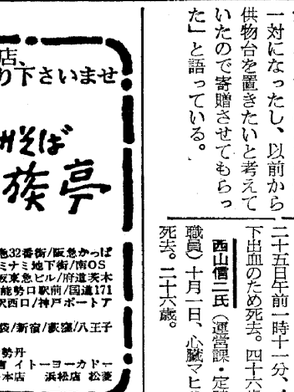
伊藤さん15位
世界アーチェリー大会

フィンランド・ヒビンカで開かれた第九回世界フィールドアーチェリー選手権大会（8月22―25日）に日本代表として出場した伊藤邦栄さん（文学部四回生）は、九月十九日に帰国、あいさつに校友会を訪れた。

女子の部は三十人が参加、伊藤さんは初日（23日）20位、二日目（25日）10位、総合15位だった。初めての国際試合で「ありがりました。でも、いい体験でした」といい、この経験を生かして1986年オーストリアで開かれる第十回大会へ連続出場を目指し、さらにソウル五輪をねらう。

卒業後の進路については、高校教員試験の発表待ちで「アーチェリー部のある高校は限られていますが、オリンピックのゴールドメダリストを育てたい」と“レディ・ロビンフッド”の抱負を語っていた。

慰霊碑の供物台を寄贈
安井守衛長から


花台付供物台と安井氏

昨年の関西大学会館北側にある慰霊碑に灯籠一基を寄贈した総務局総務課・安井季道守衛長が、このほど花台付供物台を寄贈、慰霊碑の前に設置された。

台は横一・三㍍、高さ八〇㌢、幅五〇㌢、御影石で作られている。

安井守衛長は「灯籠も前からあったものとあわせて一対になったし、以前から供物台を置きたいと考えていたので寄贈させてもらった」と語っている。

韓国の「改正商法実務大典」
李博士から贈られる

韓国同窓会本部会長、法学博士、李達雨氏から稲野治兵衛副理事長へこのほど「改正商法、会社実務大典」なる同氏の著書が贈られてきた。千四十六㌻から成る大著だが、本年九月一日から施行になった改正商法の解説書で、新旧条文を対比したもの。

同氏は、檀国大学教授、弘益大学待遇教授、建国大学講師などを歴任した法律学者。いままで著書も多数刊行しており、今回の改正商法実務大典は、韓国が商法制定以来二十年間手をつけなかった大改正商法の解説書を各方面の要望に応えて書いたもので、三年前に同国政府が発表した草案に基いて著述したもの。去る三月の臨時国会を通過、九月施行となったので刊行された。

李博士は稲野副理事長とは昭和十六年三月卒業の同期生。副理事長宛の手紙には去る四月母校関大千里学舎で久しぶりに開かれた同期生会「一六会」にこの著書の執筆中だったため欠席したことのおわびと在韓国の同期生の動静が綴られていた。

なお同大典は大学図書館に寄贈された。

大阪府人事異動

9月20日付

【部長級】

同和対策室長（企画部次長）幸田豊＝31法

【次長級】

府民文化室長（青少年対策課長）野瀬通雄＝33文

10月1日付

【課長級】

関西国際空港K K補償課長へ派遣（経済振興課長代理）高橋桂＝37経

黒川秀孝氏（工学部・黒川秀雄教授の父）九月二十三日午前十時老衰のため死去。八十四歳。

玉腰栄夫氏（非常勤講師）九月二十五日午前一時十一分、くも膜下出血のため死去。四十六歳。

西山信二氏（運営課・定時事務職員）十月一日、心臓マヒのため死去。二十六歳。

（4面からのつづき）

高山工業株式会社大阪支店　常務取締役・支店長　篠崎　英男

◆一五万円

株式会社マツダオート関西　社長　木下　光生

◆一〇万円

荒井廣税理士事務所　税理士　荒井　廣

寿商事株式会社　社長　高見　寿之

西九州信用金庫　理事長　坂口　光広

有限会社森山建設　代表取締役　森山　敏憲

◆五万円

株式会社スエトモ　代表取締役　末友　良治

西大阪土地有限会社　取締役　末友　良紀

団体

◆一五〇万円

毎日新聞関大会　代表　山西　乙典

◆一〇〇万円

守口市役所純正会　会長　中西　修三

◆五〇万円

関西大学校友会箕面支部　支部長　米澤三郎

◆三〇万円

関西大学喜楽会　会長　田中　正巳

◆一〇万円

株式会社日立製作所千里会　会長　石田志津男

◆五万円

倉敷市役所千里会　幹事　小松　大介

タイガー魔法瓶株式会社逍遥会　代表　萩原健治郎

◆二万一千円

関西大学校友会大阪市役所支部港区役所　代表　阪田清治

訂正　5月15日付寄付欄、芳名に興陽郎氏（大阪豊能郡）とあるのを（寝屋川市）に、また7月15日、笠松・青木会計事務所とあるのを笠松・青木監査法人と訂正します。（関西大学創立一〇〇周年記念事業事務局）

緑の中の宴　本年9月新宴会場オープン
総会・記念パーティーに。
千里阪急ホテル
地下鉄御堂筋線千里中央駅前　TEL.(06)872-2211

商標登録
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13―28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631―6565
641―1666(代)
641―6565
特別割引券 関大 ㊙
山本雅巳
（昭和53年大法卒）

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店 阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/阪急かっぱ横丁/ナビオ阪急/難波戎橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江社点/江坂東急ビル/府道天木香家北/高槻松坂屋/阪急川西能勢口駅前/国道171号西宮門戸阪横西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランドダイエー住吉下
東京店 有楽町/日比谷/渋谷/蒲田/池袋/新宿/荻窪/八王子
川崎店 岡田屋モアーズ
横浜店 ヨコハマルミネ　浦和店 伊勢丹
千葉店 セントラルプラザ　津田沼店 イトーヨーカドー
仙台店 ジャスコ　札幌店 丸井今井本店　浜松店 松菱

営業品目
GKスチールサッシドアー製造販売
YKKアルミサッシ建具代理店
株式会社 合同建材鉄扉製作所
代表取締役 中橋紀司
（昭35学1経卒）
本社工場　大阪市鶴見区今津南2丁目6―20
電話 大阪(06)969―0771(代)
山陰営業所　島根県出雲市大塚町1021番地
電話 出雲(0853)21―1340

カメラのデパートナニワは
カメラ5年間保証
カメラのデパート 心斎橋 ナニワ
●カメラ●ビデオ●時計
大阪・心斎橋大丸・そごう間東へ50歩 ☎245-0001
●堂島店 西梅田ドーチカ街 (344)5921
●梅田店 大阪駅前ヂ3ビルB1F (345)0720
●本町店 本町4丁目東へ50歩 (271)0728
●毎日会館店 毎日会館南館 (345)3865
●千里中央店 千里中央サンタウン2F (831)2569
●空港店 大阪空港名店街2F (856)7447

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長 赤井常隆
本社 550大阪市西区北堀江一丁目一一八 電話大阪(五三八)代表三六二一～六番
支店営業所 東京・名古屋・福岡
工場 静岡・川西・神戸

関大で学んだ韓国の先輩たち

座談会

戦前卒業の校友大いに語る

八月二十四日夜にソウル在住の韓国人校友九人と、名古屋在住の日本人校友白羽弥三氏計十人を一料亭に招き、在学中の思い出を語っていただいた。白羽氏は戦前、公州その他で教育に従事され、韓国を第二の故郷として懐かしまれ、特に自ら希望して参加された。

このような座談会を催したのは、関大の卒業生に韓国人卒業生が少なくなく、同国の各方面でめざましい活躍をされている方が多いにもかかわらず、実業界に眼を転ずると、やはり本席に見えなかったが、大田の李雄烈氏は韓国財界の大立物として知られるほか、各地に会社社長は多い。筆者も、かつて大阪市で紡績会社の社長等をしておられる方五人とお目にかかったことがある。本席にご出席の安炳泰氏も化学工業方面の会社を経営しておられる。

こうした戦前の卒業生の方々が、関大時代にどのように学問をされ、どのように学生生活を送られたか。そして周知のように、戦前の日本の苛酷な植民地政策のもとにあって、種々の自由を奪われていた方々が、どのように束縛と圧迫を経験されたか、などを伺うのが、座談会の目的の一つであった。

校友諸氏の座談にみられるように、学外では特高警察の調査追究、特に韓国人同胞の徴兵志願制実施に伴う応募強制のような事実が語られた。しかし、学内では平等であり、差別はなく、教授方の授業や教育の良さが語られたことは、我々にとってよろこばしいことであった。日本の半島植民地化は、我々のすべてが反省すべき過去の罪悪であるが、関西大学の百年の歴史において、多くの韓国人学生が真剣に学んだ事実の一頁を百年史の記録に留めたい。

（文責、横田健一）

真剣だった学生時代

いま、政・財・教育界で活躍

日時　昭和59年8月24日　午後6時15分～午後10時
於　ソウル西小門洞　喜園

―出席者―

尹東寅（昭11専1法・昭14大法、前ソウル水産市場㈱理事）
李達雨（昭14専1法・昭16大法、韓国同窓会本部会長）
曺圭甲（昭16大予・昭19大法、建国大学校教授）
俞泰興（昭16専2法、大法院長）
具教正（昭17大予2・昭19大経、七洋実業㈱理事会長）
李一珪（昭18専2法、大法院判事）
金瑾（昭18専1法、前法務次官）
安炳泰（昭18専2法、泰成化学商社社長）
姜大洪（昭19専2法、韓国同窓会幹事長）
白羽弥三（昭6専法、大和商事㈱代表取締役社長、特別参加）

関西大学
横田健一（文学部教授）
薗田香融（同）
泉澄一（同）
日野黛（年史資料編集室）

李達雨　本日はご多忙中にもかかわらず、皆様がご参加くださったことを感謝します。本日参加予定の方で、まず釜山の李泳来さんは法廷に出廷せねばならぬので欠席されます。それから、大田の李雄烈さんはけがのため、ソウルの梁鉄鎬さんは健康がすぐれぬため参加できぬ、との連絡を受けました。ご参加の皆さまによろしくとのことです。

さて、本日の会合は韓国同窓会が企画したものではありません。大学側の主催です。したがってこちらにいらっしゃる横田先生と薗田先生に司会していただくことをご了解ください。それから、日本語と韓国語のどちらを使うかという問題ですが、私の考えでは、どちらでもいいんじゃないかと思います。大学時代の思い出で胸の中がいっぱいになっていても、表現の仕方に困るという方は、追憶談を韓国語で話していただいても差しつかえありません。

その他に私から申しあげることとしては、白羽先輩をはじめ、横田先生、薗田先生、遠い所からお越しいただき、心から感謝いたします。また、俞大法院長、李判事もお忙しい中をご出席いただき、心から感謝いたします。私の話はどのくらいにして、この後の会の進行は薗田先生にお願いします。

薗田　それでは私が司会をさせていただきます。本日は、皆さまお忙しい中をお越しいただき、ありがとうございます。最初に横田教授からご挨拶、そして本日の会合の趣旨などについてお話いただきたいと思います。

横田　それでは李達雨先生のご厚意に甘えさせていただき、膝をくずしたままご挨拶させていただきます。私は昭和二十一年、一九四六年に旧制予科の教授になりましてから三十八年間、関西大学に勤務させていただいている者であります。専門は薗田教授と同じく日本史でして、歴史を研究していることから昭和三十年、一九五五年に『関西大学七十年史』を編纂し、千ページに近い本を書いたのです。その後三年が経ち、昭和六十一年、一九八六年に関西大学が百歳を迎えるということで、今度は関西大学一〇〇年史編纂委員に任命されたわけです。委員長は大西昭男学長、私が副委員長、薗田教授が委員でありますが、編纂の実務の方で言えば私が委員長で薗田教授が副委員長ということになります。

こちらの方々は皆さま各方面でご活躍中で、将来「関西大学を彩る人々」ということで学史に名をとどめるような方々であると思います。このような方々が関西大学在学中にどのような学生生活をおくりになったか、大学で学ぶことによって何か大いに得る所がおありになったかどうか、それと同時に忌憚なく申せば、皆さまは韓国の方々でございますので、戦争中あるいはそれ以前に、一種の民族差別のようなことで不愉快な思いをなさったことがおありになるかどうか、あるいは徴兵や勤労動員で随分つらい目におあいになったのではなかろうか、また神社崇拝を強制されたというようなことをお聞かせ下さい、ということです。といいますのは、現在関西大学で学んでおります韓国人学生が、前の『七十年史』にそういうことが少しも書いてないではないかというようなことを申しております。『七十年史』の編纂を始めたのが、一九五三年で、ご承知のとおり一九五〇年に朝鮮動乱が起こり、到底こちらへ来て皆さまのお話をうかがえるというような状態ではございませんでした。また、私どもも関西大学へ参りまして間もないころでしたので、日本にいらっしゃる方々のことも存じあげず、おうかがいする機会がありませんでした。

李達雨　私は十三年前に韓国を訪ねた時から、李達雨先生には大変お世話になっております。こちらへやって来る度に、高層ビルの建設や交通の発達という、目を見張るばかりの高度成長に驚かされるのですが、そういう中にいらっしゃる皆さまのお話を、是非とも今のうちにおうかがいしておかねばならぬと思いまして、会長の李達雨先生にお願い申し上げたところ、快くこのような会を設けていただき、大変喜んでおる次第であります。本日、おうかがいするお話は来るべき『関西大学一〇〇年史』の編纂に役立てさせていただきたいと思っておりますので、何分にもよろしくお願い致します。

薗田　本日は大先輩の白羽先生も日本からお越しいただいておりますので、白羽先生、おひとことお願いします。

白羽弥三　私は、今日は飛び入りですので、申し上げることはありません。ただ私にとっては、韓国そのものが故郷のような気がします。なぜ、このような感情を持つようになったかといいますと、今から四十年前に、私は公州に教鞭に携わっていました。ところが、その当時の教育とそのものに憤懣やるかたない思いを抱き、一年教ガ月で学務課長とケンカをして辞職しました。こういったことから、日本にも、またこちらにも、教えたり、教えられたりした親しい子弟がおり、何かにつけて故郷のような気がします。

本日は、姜大洪学友から、韓国の校友の皆さま方がお集りになるとの連絡を受けて、急遽こちらに参りました。懐しの韓国校友が顔をつらねられておる会に同席させていただき、大変うれしく思います。ありがとうございました。

薗田　本日の会合の趣旨については、ただ今、横田教授からお話のあったとおりですが、少し補足させていただきますと、私事にわたりますが、十三年前、私も横田教授のお伴をして韓国に参りましたが、李先生はじめ韓国同窓会の皆さまに大変歓迎していただきました。ちょうどその時、金瑾先生が法務次官におなりになったというお話でしたが、李先生はじめ韓国同窓会としましては、ご活躍をただちに、関大の教育の成果に結びつけてよいかどうか。本日は、その辺のところを忌憚なくお聞かせいただけたらありがたく思います。皆さまもご承知のように、一昨年の教科書問題以来、日本では戦前の半島統治に対する反省の機運が高まっています。おそらく先輩各位も一緒には知られない形で、不愉快なご体験をお持ちではないかと思います。まはどちらに参ります前に、神屋敷先生から金瑾先生の韓国記念論文集を拝見したのですが、その中に先生の略歴がのっていまして、一九四四年六月の条に「学兵不応事件により同大学中退」とあるのが目にとまりました。本日は、お差しつかえない範囲でその辺の事情などもお聞かせいただければ大変ありがたく存じます。むろん、その他の在学中の思い出、印象に残る恩師や友人のお話などもお聞かせいただけたら幸いです。

私、司会に慣れないため、少し緊張して緊張しくなりましたが、どうかおくつろぎになってご自由にお話しくださるようにお願いいたします。と申しましても、一度にお話しいただいても混乱いたしますので、ここに卒業順の名簿を用意しました。最初の一まわりはこの順序で、お一人五分から十分ぐらいの見当でお話しいただきたいと思います。それではまず尹先生からお願いします。」

在学中に事業経営

従業員五百人のガラス工場

尹東寅　私は現在七十六歳ですが、家内が病気にかかった時、本庄先生が国生病院の役員だったので、病院を訪ね、先生にお目にかかって事情を話し、入院させていただきました。おかげで家内の病気もどんどん良くなったですよ。

私は子供が九人もおります。男五人と女が四人、全部大学を卒業させました。娘婿もあわせると、医学博士が五人もおるですよ。これも関西大学に学んだおかげと喜んでいます。私の申し上げたいことはそれだけです。

関大での勉強

米留学で役立つ

偏狭な日本人の民族性

曺圭甲　私にとっては、英語の時間でしたけれども、村上（喜夫）先生の「西洋文化の揺籃」という授業の内容が非常に印象的でした。私は法律を専攻していたんだけれども、たくさん歴史の本を読んだのは村上先生の授業の影響だと思います。それから西洋史の西井克巳先生はドイツ語と英語とフランス語の三つを使うんですよ。私は英語とドイツ語はわかるんだけど、フランス語はわからない。だけど、講義を受ける以上在方がないから、その時に一人でフランス語を勉強しました。また、とんなこともありました。日本史の講義は予科の時と学部の時の二回受講しましたが、学部の時だったか、予科の時だったかは忘れたけれど、某先生の講義中に、伊藤博文公がハルビン旅行中に、韓国の一因漢・安重根に射殺されたといわれ、大へんショックでした。立場を変えて考えてみれば、安重根さんは民族独立運動をやっているんだから、一人の韓国人が銃殺されたとも考えられるわけです。この先生は、これを一方的に表現したんだな。それで私は、その部分をノートに取らなかったですよ。

私は関西大学を卒業してからアメリカへ行って、大学院課程に進み、研究をしたり、論文を書いたり、色々と勉強をしたわけですが、帝国大学の教授よりも、関西大学で学んで良かったという感じを受けました。特にそう感じたのは、私は関大で憲法を佐々木（惣一）先生から、民法は末川（博）先生から学んだんですが、その理論がアメリカへ行っても十分通用するんですよ。今から考えてみれば、かえって関大へ行って良かったと思います。なんとなれば、世界の潮流に乗った学問ができたからです。

学生生活の思い出としては、野球部の応援で、学科の勉強が済んでから応援の練習をしないと、上級生に処罰されるんです。それで無理に残されて応援の練習をしたんですが、六大学のリーグ戦が始まって、球場で応援する段になると、結構夢中になったのが非常に印象深いことです。

私はまた、ここにいる金さんと一緒だったんですが、イングリッシュ・スピーキング・サエティという英語会の会員でした。英語会は週に一回ぐらいティー・パーティーを開いたり、講師が来て会話をしたり、日曜日には他大学の学生も集まってフリー・トーキングをしたりしました。また、男の学生も女の学生も一緒になってゲームもした。神戸学長の財政学の魅力

私の今は関大があったから

俞泰興　私の思い出話は多すぎて、十時間あっても、二十時間あっても足らないぐらいです。三年前に私が大法院長に就任した時に、母校の皆さまに韓国にお祝いに来ていただいた場でも申し上げたことがあります。「関大無かりせば自分の今日は無かったであろう」と。それはなぜかというと、哲学的に言っていろんな人生観を人は持っておりますけれども、私は運命論を絶対に信じております。人間は因果関係といったものが、一定の原因が一定の結果を生む、一定の結果が更に一定の原因となってその次の結果を生むんだから、結局、人間まならず、大宇宙が皆この運命の必然性だと。ここに人間の自由意志が介入しても、実際的には自由意志を決定する力というものが外観上はあっても、私にはそう思えない。自由意志というものは、先行原因があったから、こういう意志決定をしたであろうし、またそういう努力をしたであろうと。私はこういう運命論を持っておりますから、関大を出ていなければ、他の運命の轍をたどったであろうから「関大無かりせば、私の今日も無かったであろう」というようなことを申し上げた事があります。

私の小学校時代に、父が裁判所の書記を務めていました。それで、小学校からの帰りにしょっちゅう裁判所に寄って法廷に入っていたが、私は消息を知らないと試験の答案の内容を話しあってみますと、私の方が武田先生のノート講義の内容がほとんど抜けておる。それで私は失敗したと思ったんです。それで、下宿へ帰っても気分がさえて蒲団をかぶって寝てしまったくらいです。

ところが二日目くらい経って、先生から呼び出しの貼り紙があったんです。これはきっと海商法のことを一つだけ申しあげます。私は現在も商法を専攻しておりますが、その勤機は武田蔵之助先生のご指導を受けたおかげです。先生は東大を出られて、弁護士を開業しながら、関西大学に講師として海商法とか保険論を担当しておられました。私が学部三年の時にどういう問題であったかは記憶していませんが、学年末試験を受けての帰途、一番親しかった山口勇君と和歌山から連ってき